

中期目標期間 事業報告書

自 平成18年4月 1日

至 平成24年3月31日

平成24年 6 月

公立大学法人福岡女子大学

中期目標期間(平成18年度から平成23年度まで)における実績概要

I 全体概要

本学では、教育内容、教育組織等の全てにわたる「抜本的な改革」を重要かつ喫緊の課題とし、全学を挙げて取り組んできたところである。平成20年11月に県が策定した「福岡女子大学改革基本計画」の実現に向けて、県と緊密に連携し、県民の期待に応えうる、グローバル化時代にふさわしい魅力ある大学づくりに向けて、不断の改革を推進してきた。平成23年4月に「国際」と「教養」を重視した1学部3学科からなる国際文理学部を開設し、キャンパスの国際化を図るとともに、主体的で幅広い学びを重視した実践的な教育を行っている。

II 項目別概要

1 教育

文部科学省平成19年度現代GPに「男女共同参画社会をめざすキャリア教育」が採択され、職業キャリア導入教育、学問キャリア導入教育等の取組を全学挙げて実施した。

新学部の1年生に向け、学生参加型少人数教育である「ファーストイヤー・ゼミ」を開講し、大学における基礎的な学習スキルの養成、主体的な学びの動機付けやキャリア教育の推進等を行った。

自らの生き方を切り拓く実践的な能力を養成するため、平成22年度に課外活動として「体験学習プログラム」を開始し、新学部発足に伴い「体験学習科目」として定着させた。

九州大学、西南学院大学との3大学によるコンソーシアム「EUIJ九州」の一環で、3大学連携の単位互換プログラムをスタートさせ、本学学生にEUについての体系的な学習の機会を提供することができた。

入試広報については、高校訪問、オープンキャンパスへの重点的な取組等の結果、目標を上回る実績を上げた。

就職対策についても、就職対策講座や民間企業出身の就職支援員によるきめ細かい就職支援の結果、厳しい経済状況の中、高い就職率を達成した。

一方、学生による授業評価の教員個人業績評価への反映は、授業の質の改善を目的とした場合に適当ではないとの判断から実施しないことを決定し、代わりに授業評価アンケートの手法と内容の改善を行った。

なお、平成22年度の入学生をもって募集を停止した既存学部の教育については、新学部での教育内容や手法において、実施可能なものは積極的に取り入れるなど、最後まで質の高い教育の実施に努めている。

2 研究

学内研究奨励交付金について、傾斜配分を段階的に30%まで引き上げ、研究の活性化を図った。また、「国公立大コンソーシアム・福岡」や「九州大学グローバルCOEプログラム(新炭素資源学)」への参加、福岡県保健環境研究所との包括連携協力協定、九州産業大学、福岡工業大学との東部地域大学連携協定、国立病院機構九州医療センターとの連携協定等、他大学や研究機関と連携し、共同研究・共同事業を実施する等、学外機関との研究交流を推進した。

3 社会貢献

公開講座の充実に継続的に努め、多数の受講生を得た。特に、平成23年度には、ノーベル化学賞受賞の鈴木章先生による受賞記念講演会を、九州大学、西日本新聞社との共催で開催し、地元高校生をはじめ多くの参加者に、化学の面白さと日本が科学・技術立国として世界を先導するために科学・化学の力が不可欠であることを伝えた。また、高校生を対象に、2泊3日のイングリッシュ・キャンプを開催し、英語コミュニケーション能力の強化と、異文化への理解の深化に貢献した。

本学が企画し、福岡県の重点施策に採択された「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足させ、国際会議を開催し、今後の共同研究、研究発表までの道筋をつけたことは、アジア地域での本学のプレゼンスを著しく向上させた。

4 業務運営等

業務運営については、平成18年度以降主体的・自律的な法人運営を確保するため、法人の基本的運営事項を決定する「法人運営会議」等を開催した。また、中期目標・中期計画の達成に向けて、法人全体の運営戦略を担う事務局機能の強化を図り、組織・運営体制の再編、整備に取り組んだ。

財務については、外部研究資金の獲得に取り組み、目標を大幅に上回る実績を上げたほか、公開講座の受講料を徴収する等の自己収入の増加に努めた。経費面の抑制については、人件費の抑制や、通信費・光熱水費等の管理経費について、新学部開設に伴う業務増、教員・学生数の増という厳しい状況の中、日々の削減努力を行った。

評価については、自己点検・評価結果及び福岡県公立大学法人評価委員会、独立行政法人大学評価・学位授与機構の評価結果を踏まえ、大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画にも反映させた。また、平成22年度の大学評価・学位授与機構による認証評価において、全体として大学評価基準を満たしているとの評価結果を得た。

情報公開については、平成21年度の企画広報室立ち上げ以降、新学部の認可スケジュールに合わせ十分な情報発信を展開した。また、「教育情報の公開」については、情報を適切に管理し、大学ホームページのトップページより確認できるよう配慮した。

5 大学改革の推進

新学部の設置認可について、県と緊密に連携しながら学部学科の再編について協議を行い、「福岡女子大学国際文理学部設置認可申請書」を提出し、平成22年12月に認可を得た。

新学部の教育理念に基づく国際性及び文理統合教育における基盤的能力の養成を目指し「学部共通教育機構」を立ち上げ、開学初年度は初年次教育であるファーストイヤー・ゼミマニュアルの原案作成を行った。

新学部の教育理念の実現に向け、国際共生プログラムや体験学習プログラムの実施等、主体的学びと幅広い学びを重視した実践的な教育システムの整備を行った。

国際化については、海外有力大学との交渉を精力的に進め、平成23年度までに21校との提携を実現し、本学学生の海外派遣(交換留学、体験学習、語学研修)や、優秀な短期留学生(The World of Japanese Contemporary Culture Program)の年間を通しての受入れを果たすなど、国際的な学習環境づくりについて大きな成果を上げた。

大学運営に関しては、新学部理念の実現に向け、各種事業を重点的かつ機動的に推進できるよう、重点事業別の5つの附属機関(地域連携センター等)の設置や事務局体制の見直し等、組織・運営体制の再編、整備に取り組んだ。平成23年度より、新理事長の下、機動力のアップを目指し、「副学長」職の設置と増員、常勤役員の「担務制」の導入や、大学運営に関する協議・調整機関としての「大学連絡協議会」、予算の重点化と効率的・効果的な配分を検討する「予算編成会議」の設置等を行った。

項目別の状況

<p>中期目標 1 教育</p>	<p>「職場、家庭、地域など社会の様々な分野において、重要な役割を担うことができるよう、コミュニケーション能力、判断力、実行力を身に付けた女性を育成する。」</p> <p>(1) 特色ある教育の展開 福岡女子大学は、自らの言葉で相手と対話し、理解させることができるコミュニケーション能力、的確に課題を解決できる判断力、自らの役割を認識して責任ある行動をとることができる実行力を育成するための教育を実施する。</p> <p>(2) 教員の教育能力の向上 教員の個人業績評価制度と任期制を導入し、教育能力の向上と教育活動の活性化を図る。個人業績の評価は授業活動を中心として行い、その結果を人事や給与に反映させ、教員の職務へのインセンティブの付与を図る。</p> <p>(3) 優秀な学生の確保・育成 大学が求める優秀な学生を確保するため、高校訪問、出前講義、オープンキャンパスなどの広報活動を充実させ、高校生等に福岡女子大学の魅力を広く伝える。また、特待生制度の導入、入試方法の見直し、厳格な成績評価の実施などにより、優秀な学生を選抜し、育成する。 シラバスに、各科目の到達目標と成績評価基準を明確に示して学生の目標設定を容易にし、学生の学習意欲を高め、自主的な学習を促す。</p> <p>(4) 就職支援の充実 就職を希望する学生を支援するため、独自に企画したインターンシップの実施をはじめ、就職先開拓や求人情報の提供など、教職員が一体となって就職支援の充実を図る。また、在学生だけでなく、卒後の未就職者に対しても支援を実施する。</p>
----------------------	--

中期計画		計画の実施状況																				
項目	実施事項																					
<p>1 教養教育</p> <p>女子大学の使命として、学生に一個の人間として自分がどうあるべきか、社会にどう参画していくかを考えることのできる高い教養を身に付けさせる。この教養教育によって、学生に今自分が置かれている状況を見極めさせ、どのような目標に向かって進むべきかを考えさせ、目標実現のために主体的、創造的に行動していく実践力をもたせる。 また、人生観・職業観を育てるキャリア意識教育を行い、学生に自立した女性としての自己を確立させ、学生一人一人のキャリア実現を図る。</p>	<p>1.【理解力・思考力・洞察力を育成する科目群の充実】 学生に現代社会を力強く生き抜く能力をつけさせる教養教育を行うために、現在の全学共通科目のうち、総合講座と個別講義の科目を再編統合する。(「異文化理解と国際化」「社会生活と法」「生命と倫理」などの科目を中心にした再編統合)</p> <p>○達成目標 ・学生の成績 : B以上60% ・学生による授業評価 : 4以上50% ・個人業績評価(授業活動) : B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①「学問キャリア導入教育科目」の導入を決定し、平成20年度から「学問基礎論」相当科目3科目を開講した。 ②「男女共同参画社会を目指すキャリア教育」が文部科学省の平成19年度現代教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に選定された。この一環として、特別講演会やキャリア教育シンポジウムを開催した。 ③平成23年度に開設した国際文理学部において、文理統合教育のための新科目を4科目開講し、既存学部生にも受講を認めた。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>93.6%</td> <td>88.7%</td> <td>79.6%</td> <td>85.8%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>71.1%</td> <td>65.0%</td> <td>57.1%</td> <td>70.7%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">未実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※個人業績評価(授業活動)については、評価の根拠となる学生による授業アンケートからは評価に正しく反映できるデータが得られなかったことから、「未実施」と記載している。 以下の項目についても同様</p>		H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	93.6%	88.7%	79.6%	85.8%	学生による授業評価4以上	71.1%	65.0%	57.1%	70.7%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施			
	H20	H21	H22	H23																		
学生の成績B以上	93.6%	88.7%	79.6%	85.8%																		
学生による授業評価4以上	71.1%	65.0%	57.1%	70.7%																		
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																					

中期計画		計画の実施状況																																			
項目	実施事項																																				
	<p>2【社会において女性の能力を引き出す科目群の充実・強化】 日本及び世界における女性の活動を広く歴史、社会構造・制度、文化面から見る科目群を充実させる。 (「女性の現状」「女性と社会」など)</p> <p>○達成目標 ・改善科目数 :3科目開講 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成19年度から、男女共同参画関連科目5科目を開講した。 ②新学部において、新たに国際的視点を持って女性の活動を考える科目を設定した。 ③新学部において、体験学習科目を開講し、既存学部生にも受講を認めた。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講科目</td> <td>5科目</td> <td>5科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>5科目(既存学部)、3科目(新学部)</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>98.0%</td> <td>97.6%</td> <td>93.4%</td> <td>95.7%</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>65.5%</td> <td>76.0%</td> <td>93.0%</td> <td>71.4%</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	開講科目	5科目	5科目	4科目	4科目	5科目(既存学部)、3科目(新学部)	学生の成績B以上	98.0%	97.6%	93.4%	95.7%	76.5%	学生による授業評価4以上	65.5%	76.0%	93.0%	71.4%	94.3%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施									
	H19	H20	H21	H22	H23																																
開講科目	5科目	5科目	4科目	4科目	5科目(既存学部)、3科目(新学部)																																
学生の成績B以上	98.0%	97.6%	93.4%	95.7%	76.5%																																
学生による授業評価4以上	65.5%	76.0%	93.0%	71.4%	94.3%																																
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																				
	<p>3【個別ゼミの拡充(教養ゼミの拡充)】 少人数教育の「個別ゼミ」を拡充する。(「近現代日本女性史」「日本の政治と社会」「現代社会における科学技術(科学技術の現代社会での役割)」「身の回りの環境問題」などの内容を中心にした拡充)。 これによって作文能力・討論能力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を向上させ、リーダーシップを備えた女性を育成し、学生一人一人のキャリア実現を図る。</p> <p>○達成目標 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①個別ゼミについては、平成18年度の14科目から科目数を年々増やし、平成23年度には19科目を開講した。 ②少人数教育で活用できるFD研修会を開催した。 ③新学部において、「ファーストイヤー・ゼミⅠ・Ⅱ」を開講し、初年次教育の充実を図った。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td></td> <td>97.4%</td> <td>100%</td> <td>98.1%</td> <td>95.9%</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td></td> <td>75.5%</td> <td>84.9%</td> <td>82.6%</td> <td>93.8%</td> <td>81.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> <tr> <td>(参考実績)個別ゼミ開講数</td> <td>14科目</td> <td>15科目</td> <td>15科目</td> <td>16科目</td> <td>18科目</td> <td>19科目</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上		97.4%	100%	98.1%	95.9%	95.2%	学生による授業評価4以上		75.5%	84.9%	82.6%	93.8%	81.9%	個人業績評価(授業活動)B以上		未実施					(参考実績)個別ゼミ開講数	14科目	15科目	15科目	16科目	18科目	19科目
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																															
学生の成績B以上		97.4%	100%	98.1%	95.9%	95.2%																															
学生による授業評価4以上		75.5%	84.9%	82.6%	93.8%	81.9%																															
個人業績評価(授業活動)B以上		未実施																																			
(参考実績)個別ゼミ開講数	14科目	15科目	15科目	16科目	18科目	19科目																															

中期計画		計画の実施状況																																																																																																			
項目	実施事項																																																																																																				
	<p>4 【英語総合能力(読解・表現・聴解)を養成する科目群の強化】 国際社会において高いキャリアを実現させるために、英語能力を養成する科目群を強化する。</p> <p>○達成目標 ・TOEIC取得点数 英文学科 :650点以上80% 国文学科 :500点以上80% 人間環境学部 :500点以上80% ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①英語学習に関する特別講演会を開催し、学生の英語学習への動機付けを図った。 ②英語能力養成に向け、平成21年度からクラス増や希望選択制の導入により、きめ細やかな指導を心掛けた。 ③学内一斉TOEICテストの実施とカレッジTOEIC(生協主催)の実施により、学習機会を随時提供した。 ④TOEIC強化補習を実施した。 ⑤新学部において開講した海外語学研修やフィールドスタディなどの海外実習科目について、既存学部の学生にも受講を認めた。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">TOEICテスト(18年度入学生の各年度における各々の最高得点)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文学科650点以上</td> <td>8%</td> <td>35%</td> <td>43%</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>国文学科500点以上</td> <td>33%</td> <td>51%</td> <td>53%</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>人間環境学部500点以上</td> <td>42%</td> <td>52%</td> <td>53%</td> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">TOEICテスト(19年度入学生の各年度における各々の最高得点)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文学科650点以上</td> <td>4%</td> <td>31%</td> <td>42%</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>国文学科500点以上</td> <td>34%</td> <td>38%</td> <td>40%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>人間環境学部500点以上</td> <td>44%</td> <td>51%</td> <td>52%</td> <td>52%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">TOEICテスト(20年度入学生の各年度における各々の最高得点)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文学科650点以上</td> <td>4%</td> <td>33%</td> <td>44%</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>国文学科500点以上</td> <td>20%</td> <td>42%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>人間環境学部500点以上</td> <td>28%</td> <td>54%</td> <td>57%</td> <td>57%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>93.9%</td> <td>92.1%</td> <td>86.9%</td> <td>88.7%</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>72.0%</td> <td>78.0%</td> <td>81.4%</td> <td>83.1%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table>	TOEICテスト(18年度入学生の各年度における各々の最高得点)						H18	H19	H20	H21	英文学科650点以上	8%	35%	43%	43%	国文学科500点以上	33%	51%	53%	55%	人間環境学部500点以上	42%	52%	53%	55%	TOEICテスト(19年度入学生の各年度における各々の最高得点)						H19	H20	H21	H22	英文学科650点以上	4%	31%	42%	46%	国文学科500点以上	34%	38%	40%	40%	人間環境学部500点以上	44%	51%	52%	52%	TOEICテスト(20年度入学生の各年度における各々の最高得点)						H20	H21	H22	H23	英文学科650点以上	4%	33%	44%	44%	国文学科500点以上	20%	42%	50%	50%	人間環境学部500点以上	28%	54%	57%	57%		H19	H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	93.9%	92.1%	86.9%	88.7%	85.9%	学生による授業評価4以上	72.0%	78.0%	81.4%	83.1%	91.7%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施				
TOEICテスト(18年度入学生の各年度における各々の最高得点)																																																																																																					
	H18	H19	H20	H21																																																																																																	
英文学科650点以上	8%	35%	43%	43%																																																																																																	
国文学科500点以上	33%	51%	53%	55%																																																																																																	
人間環境学部500点以上	42%	52%	53%	55%																																																																																																	
TOEICテスト(19年度入学生の各年度における各々の最高得点)																																																																																																					
	H19	H20	H21	H22																																																																																																	
英文学科650点以上	4%	31%	42%	46%																																																																																																	
国文学科500点以上	34%	38%	40%	40%																																																																																																	
人間環境学部500点以上	44%	51%	52%	52%																																																																																																	
TOEICテスト(20年度入学生の各年度における各々の最高得点)																																																																																																					
	H20	H21	H22	H23																																																																																																	
英文学科650点以上	4%	33%	44%	44%																																																																																																	
国文学科500点以上	20%	42%	50%	50%																																																																																																	
人間環境学部500点以上	28%	54%	57%	57%																																																																																																	
	H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																
学生の成績B以上	93.9%	92.1%	86.9%	88.7%	85.9%																																																																																																
学生による授業評価4以上	72.0%	78.0%	81.4%	83.1%	91.7%																																																																																																
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																																																																																				

中期計画		計画の実施状況																																				
項目	実施事項																																					
	<p>5【コンピュータによるデータ管理・文書編集・通信等の能力を養成する科目の拡充】 高度情報社会において高いキャリアを実現させるために、情報処理能力を養成する科目を拡充する。 (「情報科学の基礎と演習」を中心にした拡充)</p> <p>○達成目標 ・情報処理資格試験 :受験率在学生の50% :合格率60% ・学生の成績:B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①情報処理能力養成のため、平成19年度にe-learningを導入した。 ②プレゼンテーション能力向上を図るため、平成20年度にパワーポイントプレゼンテーション学習を導入した。 ③情報処理関連資格取得の促進のため、受験奨励制度(受験費補助)や情報処理資格試験対策講座を実施した。 ④新学部において、「情報リテラシー」、「情報インテリジェンス」を開講した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報処理資格試験 受験率(1年生)</td> <td>5.7%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>0%</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>情報処理資格試験 合格率(1年生)</td> <td>100%</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>98.8%</td> <td>98.9%</td> <td>96.6%</td> <td>97.0%</td> <td>90.4%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>87.8%</td> <td>85.9%</td> <td>86.0%</td> <td>100%</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	情報処理資格試験 受験率(1年生)	5.7%	10.0%	10.0%	0%	目標外	情報処理資格試験 合格率(1年生)	100%	90.0%	90.0%	0%	0%	学生の成績B以上	98.8%	98.9%	96.6%	97.0%	90.4%	学生による授業評価4以上	87.8%	85.9%	86.0%	100%	87.0%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施				
	H19	H20	H21	H22	H23																																	
情報処理資格試験 受験率(1年生)	5.7%	10.0%	10.0%	0%	目標外																																	
情報処理資格試験 合格率(1年生)	100%	90.0%	90.0%	0%	0%																																	
学生の成績B以上	98.8%	98.9%	96.6%	97.0%	90.4%																																	
学生による授業評価4以上	87.8%	85.9%	86.0%	100%	87.0%																																	
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																					
	<p>6【ボランティア活動等の単位認定制度の導入】 学生の社会性や協調性、行動力、指導力を養成するために、ボランティア活動などのさまざまな自主的な活動について単位認定を行う制度を導入する。</p> <p>○達成目標 ・ボランティア先の学生に対する評価 :良好評価50%以上 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①ボランティア活動の単位認定については、平成19年度から「人間環境学演習」において、一定のボランティア活動に対し試験的に導入した。 ②全学的な導入について検討したが、単に活動に対する単位認定ではなく、大学で学ぶ講義と関係させたり、或いは講義の理解を深めるための活動として単位化すべきとの結論に至り、試験的導入の継続実施となった。 ③福岡県公立大学法人評価委員会からの指摘も鑑み、本計画については単位認定制度を導入することとした本来の主旨である、社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取組と位置付け、平成23年度から新学部で体験学習を実施するとともに既存学部の学生にも受講を認めた。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(試験的)ボランティア先からのアンケート良好評価</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>未実施</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>算出不能</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23年度については両項目とも達成目標に設定していない。</p>		H19	H20	H21	H22	H23	(試験的)ボランティア先からのアンケート良好評価	100%	100%	100%	未実施	目標外	学生の成績B以上	100%	100%	100%	算出不能	目標外																		
	H19	H20	H21	H22	H23																																	
(試験的)ボランティア先からのアンケート良好評価	100%	100%	100%	未実施	目標外																																	
学生の成績B以上	100%	100%	100%	算出不能	目標外																																	

中期計画		計画の実施状況																																																																		
項目	実施事項																																																																			
	<p>7【1年次から4年次までを通した、体系的なキャリア教育の実施】 1年次学生に対して、人生観・職業観を育成する教育を行う。(キャリア・ガイダンス) 2年次学生に対して、適性・進路を選択させる教育を行う。(キャリア・デザイン) 3年次学生に対して、自己確立・専門性の深化・職業技能の習得に役立つさまざまな機会を提供する。(キャリア・トレーニング) 4年次学生に対して、進路実現の活動を最後まで支援する。(キャリア・リアライゼーション)</p> <p>学生の就職希望進路を公務員・教員・一般企業の3種類に大別し、それぞれに応じた講座(公務員養成講座・教員試験対策講座・教養試験対策講座)を提供する。</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設科目数 :最大8科目(平成19年度より順次開講) ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75% ・インターンシップ :参加率30%以上 ・インターンシップ先アンケート :良好評価60%以上 ・就職関連講座受講率 :平成22年度までに在学生の60% ・公務員合格者数 :6年間に50人以上 ・公私立教員採用者数 :6年間に50人以上 ・企業内定率 :95%以上 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①職業キャリア導入プログラムを開設し、本カリキュラムを含むキャリア教育プログラムが文部科学省平成19年度現代GPに採択された。 ②県インターンシップ推進協議会を通じたインターンシップや、大学独自の企画によるインターンシップを実施した。 ③就職関連講座や、キャリアコンサルティングを実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>3科目</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>97.9%</td> <td>97.1%</td> <td>89.1%</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>69.3%</td> <td>80.4%</td> <td>87.5%</td> <td>70.0%</td> <td>81.8%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ参加率</td> <td>14.0%</td> <td>29.4%</td> <td>47.2%</td> <td>23.6%</td> <td>30.6%</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>89.0%</td> <td>84.2%</td> <td>67.6%</td> <td>62.2%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>就職関連講座受講率(3年生)</td> <td>57.5%</td> <td>47.9%</td> <td>59.7%</td> <td>57.5%</td> <td>52.1%</td> </tr> <tr> <td>公務員合格者数</td> <td>6人</td> <td>12人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>教員採用者数</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>15人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>93.3%</td> <td>93.5%</td> <td>93.0%</td> <td>92.1%</td> <td>94.6%</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	開講科目	4科目	4科目	4科目	3科目	1科目	学生の成績B以上	100%	97.9%	97.1%	89.1%	94.3%	学生による授業評価4以上	69.3%	80.4%	87.5%	70.0%	81.8%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施					インターンシップ参加率	14.0%	29.4%	47.2%	23.6%	30.6%	アンケート良好評価	89.0%	84.2%	67.6%	62.2%	72.7%	就職関連講座受講率(3年生)	57.5%	47.9%	59.7%	57.5%	52.1%	公務員合格者数	6人	12人	5人	7人	14人	教員採用者数	7人	7人	15人	6人	4人	就職率	93.3%	93.5%	93.0%	92.1%	94.6%
	H19	H20	H21	H22	H23																																																															
開講科目	4科目	4科目	4科目	3科目	1科目																																																															
学生の成績B以上	100%	97.9%	97.1%	89.1%	94.3%																																																															
学生による授業評価4以上	69.3%	80.4%	87.5%	70.0%	81.8%																																																															
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																																																			
インターンシップ参加率	14.0%	29.4%	47.2%	23.6%	30.6%																																																															
アンケート良好評価	89.0%	84.2%	67.6%	62.2%	72.7%																																																															
就職関連講座受講率(3年生)	57.5%	47.9%	59.7%	57.5%	52.1%																																																															
公務員合格者数	6人	12人	5人	7人	14人																																																															
教員採用者数	7人	7人	15人	6人	4人																																																															
就職率	93.3%	93.5%	93.0%	92.1%	94.6%																																																															

中期計画		計画の実施状況																									
項目	実施事項																										
<p>2 専門教育</p> <p>学生が卒業後に安定したキャリアを実現できるように、専門教育を狭い専門性に閉じこめず、関連分野の素養を併せ向上させるカリキュラムとする。実施面では、小規模大学の特性を生かした少人数教育によりきめ細かな指導体制で当たる。</p> <p>1. 文学部 国文学・英文学の基礎的知識とともに、今日の高度情報化国際社会に対応できる高い語学力と国際性・社会性・文化理解力を備えた学生を育てる。 全学的な「大学改革の推進」(中期計画・項目1-8)に沿った抜本的改革を行う。</p>	<p>1. 【文学部:国際文化関連科目の充実】 国際社会における「人間と文化」の相互関係を理解し、多文化共生の方法を探ると同時に、自国の特色ある文化の創造に寄与する人材を養成するために、国際文化科目を充実する。ここでは広義の文化(社会・経済・政治・思想・芸術)を理解する総合的知識を与える授業を行う。 (「国際関係論」「国際政治学」「国際経済学」「国際社会学」など)</p> <p>○達成目標 ・改善科目数 :平成21年度までに5科目以上 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①大学改革に先行して、平成20年度から国際文化関連科目を3科目実施した(平成21年度から5科目、平成23年度は7科目実施)</p> <p>②平成23年度から、九州大学、西南学院大学とのコンソーシアム「EUIJ九州」の一環として、単位互換プログラムを開始し、在校生の1割弱が本プログラムに登録した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講科目</td> <td>3科目</td> <td>5科目</td> <td>5科目</td> <td>7科目</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>97.3%</td> <td>97.6%</td> <td>94.6%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>77.8%</td> <td>84.0%</td> <td>88.9%</td> <td>86.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="4">未実施</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	開講科目	3科目	5科目	5科目	7科目	学生の成績B以上	97.3%	97.6%	94.6%	87.1%	学生による授業評価4以上	77.8%	84.0%	88.9%	86.9%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施			
	H20	H21	H22	H23																							
開講科目	3科目	5科目	5科目	7科目																							
学生の成績B以上	97.3%	97.6%	94.6%	87.1%																							
学生による授業評価4以上	77.8%	84.0%	88.9%	86.9%																							
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																										

中期計画		計画の実施状況																														
項目	実施事項																															
2. 人間環境学部 人間環境学部では自然科学分野を統合して教育し、人の健康と環境の関係についての知識と技術を有する人材を育成する。	<p>2【人間環境学部:各学科の特色が輝く教育システムの構築】 自然科学と技術の立場から「健康な暮らしと環境」を学ぶことを本学部の専門教育の柱とする。「総合理学」、「栄養と食・健康」、「生活環境の設計・管理」の3つの視点からなる3学科において、それぞれ学問・技術の特色を伸ばす教育システムをつくる。</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75% ・管理栄養士国家試験合格率 :平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定。 ・インテリアプランナー資格試験合格率 :30%以上(全国平均25%) ・2級建築士資格試験合格率 :20%以上(全国平均15%) 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①大学改革に合わせ、人間環境学部の学科見直しとカリキュラムの改善を行った。 ②管理栄養士国家試験対策の充実を図り、試験対策講座等を実施した。 ③平成23年度から、食品衛生監視員(任用資格)及び食品衛生管理者(任用資格)の登録養成施設として、資格取得のための履修指導を開始した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>未実施</td> <td>88.8%</td> <td>85.1%</td> <td>84.3%</td> <td>86.4%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>未実施</td> <td>75.4%</td> <td>83.5%</td> <td>79.5%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士国家試験合格率</td> <td>93.5%</td> <td>83.9%</td> <td>78.8%</td> <td>74.2%</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※インテリアプランナー資格試験は、20歳以上であれば誰でも受験可能で、受験者(及び合格者)を把握できないため、達成目標外とした。 ※2級建築士資格は、修得単位により卒業後一定の実務経験が必要であり、受験者(及び合格者)を把握できないため、達成目標外とした。</p>		H19	H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	未実施	88.8%	85.1%	84.3%	86.4%	学生による授業評価4以上	未実施	75.4%	83.5%	79.5%	87.1%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施					管理栄養士国家試験合格率	93.5%	83.9%	78.8%	74.2%	96.9%
	H19	H20	H21	H22	H23																											
学生の成績B以上	未実施	88.8%	85.1%	84.3%	86.4%																											
学生による授業評価4以上	未実施	75.4%	83.5%	79.5%	87.1%																											
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																															
管理栄養士国家試験合格率	93.5%	83.9%	78.8%	74.2%	96.9%																											

中期計画		計画の実施状況																														
項目	実施事項																															
3 大学院教育 学部教育で培った基礎知識を基に、大学院においては、地域あるいは国際的にも通用する高度な専門知識・技術を教授し、将来、教育研究分野においてリーダー的役割を担う人材を育てる。 1. 文学研究科 女性のライフサイクルを考慮した教育環境を提供し、高等教育研究機関において、国文学・英文学の教育者・研究者として活躍する高度専門職業人を育成する。 2. 人間環境学研究科 高度専門職業人等の養成機能をもつ研究科・修士課程をさらに活性化するために、生活者の観点から人の健康と環境とのかかわりあいを解明する特色ある教育を推進し、人間の社会活動や健康に関連する分野でリーダーとなる人材を養成する。	1. 【文学研究科:様々な背景を有する学生支援のための教育環境の整備】 学部生と違って大学院生(仕事をもつ社会人学生も含めて)の場合に特に必要なことは、結婚・出産・育児等の女性のライフスタイルに配慮した教育を提供することである。女性の高度専門職業人を積極的に育成するために、様々な背景を持つ大学院生(社会人学生等)の受け入れ体制(夜間・休日開講等)の工夫を行う。 ○達成目標 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%	【中期目標期間の実施状況】 ①平成19年度から、大学院生の就学状況に応じて時間割を柔軟に作成する体制を整えた。 ②社会人の大学院への受け入れを推進するため、平成21年度から長期履修制度を実施した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>99.5%</td> <td>89.1%</td> <td>95.2%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>89.0%</td> <td>97.2%</td> <td>99.0%</td> <td>100%</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	100%	99.5%	89.1%	95.2%	94.4%	学生による授業評価4以上	89.0%	97.2%	99.0%	100%	未実施	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施										
		H19	H20	H21	H22	H23																										
学生の成績B以上	100%	99.5%	89.1%	95.2%	94.4%																											
学生による授業評価4以上	89.0%	97.2%	99.0%	100%	未実施																											
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																															
	2. 【人間環境学研究科:修士課程の特色ある教育システムの構築】 人間環境学研究科においては、基礎科学の知識にたち、広い視野と専門性をもち、特色ある各分野で課題を解決する能力を養う。本学独自の「環境」と「健康」が結合した分野において、地域社会で活躍できる高度の専門知識をもつ人材を育成する。 ○達成目標 ・教育プログラム申請数 :文科省『「魅力ある大学院教育」イニシアチブ』等へ、毎年度、1件程度の申請	【中期目標期間の実施状況】 ①研究科協働教育の実施に向け、平成19年度から他専攻のすべての授業科目を受講できるようにした。 ②研究科共通科目「人間環境学特論」、「人間環境学特別演習」の内容の充実を図った。 ③四大学(福岡工業大学、九州大学、西南学院大学、本学)による「国公私立大コンソーシアム・福岡」(平成20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に採択)により、平成21年度からコンソーシアムプログラム(単位互換制度)を実施した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>92.2%</td> <td>84.3%</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> <tr> <td>他大学の受講科目数</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>4科目</td> <td>6科目</td> <td>3科目</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	100%	100%	目標外	目標外	目標外	学生による授業評価4以上	92.2%	84.3%	目標外	目標外	目標外	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施					他大学の受講科目数	目標外	目標外	4科目	6科目	3科目
	H19	H20	H21	H22	H23																											
学生の成績B以上	100%	100%	目標外	目標外	目標外																											
学生による授業評価4以上	92.2%	84.3%	目標外	目標外	目標外																											
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																															
他大学の受講科目数	目標外	目標外	4科目	6科目	3科目																											

中期計画		計画の実施状況																																		
項目	実施事項																																			
4 教員の教育能力の向上 ファカルティ・デベロップメント(FD)及び授業評価によって教育の質の充実を図る。	1 【学生による授業評価の導入】 授業内容をわかりやすく学生に伝え、学習の到達目標等を明示したシラバスの作成を実施する。これを用いた、より客観的な評価が可能な「学生による授業評価」の仕組みを導入する。「学生による授業評価」は、教員の授業改善の資料として用いるとともに、教員業績評価の教育分野の評価にも利用する。	【中期目標期間の実施状況】 ①学習の到達目標等を明示したシラバスを作成し、学生による授業評価の仕組みを導入した。 ②アンケートの実施に係る作業量の軽減と、アンケート結果を活用し易くする観点から、平成21年度よりWebによる5段階のアンケートシステムを導入した。 ③Webによるアンケートの回収率が低いため、平成23年度に「授業アンケート部会」を立ち上げ、実施方針の取りまとめとアンケート内容の見直しを図り、後期の最終授業において、紙媒体を用いた新たなアンケートの試行実施により、回収率が大幅に改善した。																																		
	2 【教員の個人業績評価制度と任期制の導入】 教員の個人業績評価を導入することにより、教員の教育目標を明確にし、達成度等の事後評価を徹底する。 また、教員の任期制を導入する。	【中期目標期間の実施状況】 ①平成18年4月から、任期制を導入した。 ②平成18年度から、各教員の前年度の活動実績についての個人業績評価を開始した(平成18年度は試行、平成19年度から本実施)。評価結果を基に、12月の報奨金、業務年俸に反映させた。																																		
	3 【教員向けの教育指導研修の実施】 現在、授業の教授法は教員個人の改善努力によっており、教員相互の情報交換が十分ではないので、全教員を対象とした教育指導研修(教員相互の授業参観等も含む)を実施する。 ○達成目標 ・FD研修会等教員参加率 :100% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75% ・他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発 :平成23年度までに6件	【中期目標期間の実施状況】 ①FD研修会を毎年実施し、教員の参加率は毎年度ほぼ100%である。 ②授業アンケート結果を基に各教員が取り組んだ授業改善・工夫等を記載した授業改善事例集を作成し、FD部会のHPに掲載した。また、FD研修会の案内や資料等も掲載し、情報の共有化を図った。 ③学部・学科において継続して取り組んでいるFDの取組について、平成22年度に実施された大学評価・学位授与機構による認証評価において、高い評価を得た。 ④平成23年度から、新たに設置された教育学習支援センターを中心に、FDに関する取組を行った。 ○目標実績 <table border="1" data-bbox="1095 1420 2263 1604"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FD研修等教員参加率</td> <td>91.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>66.7%</td> <td>73.8%</td> <td>75.3%</td> <td>85.0%</td> <td>83.9%</td> <td>83.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="6">未実施</td> </tr> <tr> <td>他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>未実施</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	FD研修等教員参加率	91.0%	100%	100%	100%	100%	100%	学生による授業評価4以上	66.7%	73.8%	75.3%	85.0%	83.9%	83.9%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施						他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発	1件	1件	1件	1件	未実施
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																														
FD研修等教員参加率	91.0%	100%	100%	100%	100%	100%																														
学生による授業評価4以上	66.7%	73.8%	75.3%	85.0%	83.9%	83.9%																														
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																			
他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発	1件	1件	1件	1件	未実施	目標外																														

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
5 優秀な学生の確保 質の高い学生、潜在的能力を持った学生を確保するために、入試方法の改善等を実施する。あわせて広報活動を強化し、高校訪問等を積極的に行い、入学志望者の掘り起こしにつとめる。また、生涯教育の期待に応えるために、社会人入試の一層の充実を図る。	1 【多様な入試制度の導入】 学ぶ意欲を持った優秀な学生を確保するために、従来型の入試に加えて多様な入試制度を工夫する。センター試験の多様な活用も検討する。 ○達成目標 ・受験の実施方法の改善 : センター入試必須科目の増加 平成19年度から、体制の整った学科(または学部)による、多様な入試制度の先行実施 ・受験倍率(受験者数/定員) : 3.5倍以上 ・辞退率=辞退者数/合格者数(追加合格除く) : 15%以下 ・センターランク(代々木ゼミ) : 70以上	【中期目標期間の実施状況】 ①平成18年度から、多様な入試制度の導入について、継続して検討を行った。 ②平成19年度に推薦入試の導入について検討したが、文学部、人間環境学部については平成23年度から募集を停止するため、推薦入試の導入は現実的に困難と判断し、新学部の開設に向け、多様な入試制度の導入についての検討を行うこととした。 ※県の中期目標に「8. 大学改革の推進」が追加されたことに伴い、平成21年度以降の実施状況については、大学改革の推進の1-5に記載
	2 【特待生制度の導入】 本学の中期目標の理念に合った優秀な学生を大学全体として育てるために、特待生選抜入試及び在校生を対象とした特待生制度を導入する。 ○達成目標 ・受験倍率 : 5倍以上 ・辞退率=辞退者数/合格者数(追加合格除く) : 5年平均10%以下 ・在学生の平均成績 : B以上60%(全在学生平均) ・国家試験合格率 管理栄養士 : 平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定。	【中期目標期間の実施状況】 ※特待生制度の導入については、より効果のある制度構築のため、導入を保留した。

中期計画		計画の実施状況																																																																																											
項目	実施事項																																																																																												
	<p>3【入試広報の充実】 本学が実施する入学試験選抜内容を広く周知するため、大学HPへの掲載、オープンキャンパスの実施や新聞社主催の大学説明会への参加、教職員や在学生の高等学校への訪問や高大連携プログラムの企画、大学案内・募集要項の配布等の多面的な活動を行う。大学の全教職員が取り組む。</p> <p>○達成目標 ・高校訪問数及びアンケート :年間30校、良好評価80% ・入試説明会件数及びアンケート :毎年15件以上、良好評価80% ・出前講義数及びアンケート :毎年15件以上、良好評価80% ・オープンキャンパス参加者数及びアンケート :毎年600人以上、良好評価80% ・志願者数(志願倍率) :990人(5.5倍)以上 ・受験者数(受験倍率) :630人(3.5倍)以上</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①企業主催の入試説明会の減少に伴い、出張講義、オープンキャンパス等に積極的に取り組んだ。 ②福岡都市圏の他大学等と共同して、大学情報発信イベントを実施し、九州各地で本学のPR活動を行った。 ③平成22年4月に、入試・広報・就職支援業務を一本化した「入試・広報・キャリア支援室」を設置した。 ④新学部の開設に向け、複数のメディアを戦略的に組み合わせ、多面的な広報活動を展開した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校訪問(延べ校数)</td> <td>21校</td> <td>21校</td> <td>52校</td> <td>63校</td> <td>122校</td> <td>137校</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td colspan="3">未実施</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入試説明会件数</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>14件</td> <td>43件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td colspan="2">未実施</td> <td>100%</td> <td>未実施</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>出前講義(出張講義)</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>23件</td> <td>19件</td> <td>28件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>93.0%</td> <td>未実施</td> <td>81.4%</td> <td>93.9%</td> <td>99.5%</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>オープンキャンパス・学校見学会参加者数</td> <td>707人</td> <td>708人</td> <td>741人</td> <td>686人</td> <td>1514人</td> <td>1774人</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>82.0%</td> <td>87.0%</td> <td>80.6%</td> <td>74.8%</td> <td>87.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>925人</td> <td>877人</td> <td>833人</td> <td>892人</td> <td>1087人</td> <td>1154人</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>5.14倍</td> <td>4.87倍</td> <td>4.63倍</td> <td>4.96倍</td> <td>4.53倍</td> <td>4.81倍</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>668人</td> <td>603人</td> <td>538人</td> <td>615人</td> <td>827人</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>受験倍率</td> <td>2.70倍</td> <td>2.64倍</td> <td>2.20倍</td> <td>2.53倍</td> <td>2.96倍</td> <td>3.23倍</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	高校訪問(延べ校数)	21校	21校	52校	63校	122校	137校	アンケート良好評価	未実施			目標外	目標外		入試説明会件数	9件	9件	9件	14件	43件	64件	アンケート良好評価	未実施		100%	未実施	目標外	目標外	出前講義(出張講義)	28件	30件	23件	19件	28件	29件	アンケート良好評価	93.0%	未実施	81.4%	93.9%	99.5%	93.1%	オープンキャンパス・学校見学会参加者数	707人	708人	741人	686人	1514人	1774人	アンケート良好評価	82.0%	87.0%	80.6%	74.8%	87.0%	90.0%	志願者数	925人	877人	833人	892人	1087人	1154人	志願倍率	5.14倍	4.87倍	4.63倍	4.96倍	4.53倍	4.81倍	受験者数	668人	603人	538人	615人	827人	876人	受験倍率	2.70倍	2.64倍	2.20倍	2.53倍	2.96倍	3.23倍
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																																																							
高校訪問(延べ校数)	21校	21校	52校	63校	122校	137校																																																																																							
アンケート良好評価	未実施			目標外	目標外																																																																																								
入試説明会件数	9件	9件	9件	14件	43件	64件																																																																																							
アンケート良好評価	未実施		100%	未実施	目標外	目標外																																																																																							
出前講義(出張講義)	28件	30件	23件	19件	28件	29件																																																																																							
アンケート良好評価	93.0%	未実施	81.4%	93.9%	99.5%	93.1%																																																																																							
オープンキャンパス・学校見学会参加者数	707人	708人	741人	686人	1514人	1774人																																																																																							
アンケート良好評価	82.0%	87.0%	80.6%	74.8%	87.0%	90.0%																																																																																							
志願者数	925人	877人	833人	892人	1087人	1154人																																																																																							
志願倍率	5.14倍	4.87倍	4.63倍	4.96倍	4.53倍	4.81倍																																																																																							
受験者数	668人	603人	538人	615人	827人	876人																																																																																							
受験倍率	2.70倍	2.64倍	2.20倍	2.53倍	2.96倍	3.23倍																																																																																							
	<p>4【社会人入試の充実】 社会人のライフステージ(ライフサイクル)にあわせた教育サービスを提供するために、学部・大学院への社会人受け入れの体制を整備する。特に学部においては一般県民への広報活動を強化し、大学院においては、現職高校教員の受け入れを図り、県内の中等教育機関との連携を進める。</p> <p>○達成目標 ・現職高校教員受け入れ :平成20年度までに教育機関と協議し、現職教員の受け入れ枠を確保 ・社会人入試の受験者数 :平成20年度から23年度まで年平均2名以上</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①社会人の履修年限の弾力化について検討を行い、平成20年度に長期履修制度を整備し、平成21年度から実施した。 ②県教育委員会の長期派遣研修制度により、平成21年度から教員を研究生として受け入れた。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会人入試受験者数</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	社会人入試受験者数	6人	5人	2人	3人																																																																																	
	H20	H21	H22	H23																																																																																									
社会人入試受験者数	6人	5人	2人	3人																																																																																									

中期計画		計画の実施状況										
項目	実施事項											
<p>6 成績評価</p> <p>学生の学習意欲向上を図るとともに、進路指導などに活用するため、新たな成績評価基準を導入し、厳格に実施する。</p>	<p>1 【成績評価基準の明確化とGPA (Grade Point Average)の導入】 全学的に明確な成績評価基準を設け、評価を厳格に実施する。 学生の成績を4段階(A,B,C,D)評価にしてそれぞれに3,2,1,0のGrade Pointを与えて、ここから算出した単位あたりの平均値(GPA)を学生指導に活用する。 成績評価基準とGPA制度についてシラバスに明記する。 ※GPAの導入により、学生も自分の全体の成績が数値でわかり、学習意欲が高まると期待されるほか、履修登録単位数を自主的に制限したり、教員も適正な成績評価を意識するようになるなどのメリットがある。</p> <p>○達成目標 ・学生の成績 : B以上60% ・管理栄養士国家試験合格率 : 平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①明確な成績評価基準(GPA)の導入について検討し、平成20年度入学生から導入・実施した。 ②GPAの運用について検討し、平成23年度から履修登録単位制限(CAP制)と併せて活用することとした。 ③GPAを、CAP制の緩和や留学生の授業料免除等に活用することを決定した(平成24年度から実施)。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>89.0%</td> <td>84.4%</td> <td>94.8%</td> <td>85.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※管理栄養士国家試験合格率の実績については、教育の2-2に記載</p>		H20	H21	H22	H23	学生の成績B以上	89.0%	84.4%	94.8%	85.1%
	H20	H21	H22	H23								
学生の成績B以上	89.0%	84.4%	94.8%	85.1%								

中期計画		計画の実施状況																																										
項目	実施事項																																											
7 学習及び就職支援体制の整備 学生の学習環境は、勉学や人間性向上への意欲を高める重要な要因である。高い勉学意欲と向上心を身に付け、教育制度の充実と併せて質の高い学生を育てる。またキャリア支援センターを設置して就職支援活動を充実させ、卒業後の高い就職率を確保する。	1【補習授業の実施】 基礎的な学力を確保するため、補習授業を実施する。 ○達成目標 ・補習授業実施科目数 :平成18年度までに、数学、物理、化学、生物の4科目開講 ・学生の成績 :B以上60% ・学生による授業評価 :4以上50% ・個人業績評価(授業活動) :B以上75%	【中期目標期間の実施状況】 ①平成19年度から、数学、物理、化学、生物の自然科学系科目に関する補習授業を実施した。 ②平成23年度から、放課後に補習授業時間を確保し、4教科で48時間(これまでの20%増)の補習授業を実施した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補習授業科目数</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>65.2%</td> <td>64.6%</td> <td>92.6%</td> <td>58.1%</td> <td>74.2%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>55.6%</td> <td>73.6%</td> <td>59.5%</td> <td>59.8%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	補習授業科目数	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	学生の成績B以上	65.2%	64.6%	92.6%	58.1%	74.2%	学生による授業評価4以上	55.6%	73.6%	59.5%	59.8%	85.0%	個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																
		H19	H20	H21	H22	H23																																						
補習授業科目数	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目																																							
学生の成績B以上	65.2%	64.6%	92.6%	58.1%	74.2%																																							
学生による授業評価4以上	55.6%	73.6%	59.5%	59.8%	85.0%																																							
個人業績評価(授業活動)B以上	未実施																																											
	2【就職活動の支援】 キャリア教育を推進するためにキャリア支援センターを設置し、就職指導体制を整備する。併せて、有力な就職先を確保するために、教職員による企業訪問を実施する。 ①キャリア支援センターの設置 ②教職員による企業訪問の実施 ③既卒者に対する就職支援の充実(卒後1年間) ④就業者の状況把握と支援 ○達成目標 ・教職員の訪問企業数 :毎年30社以上 :アンケート良好評価80%以上 ・既卒者の就職支援回数 :卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援 :就職決定率50%以上 ・就職率 :95%以上	【中期目標期間の実施状況】 ①平成19年4月に、キャリア支援センターを設置し、就職活動の支援を行った。 ②平成22年度に、民間企業の人事業務経験者等を就職支援員として3名採用し、就職相談・指導をきめ細かく実施した。 ③平成23年度に、県の緊急雇用対策で就職支援員1名を採用し、企業訪問を積極的に実施した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問実施</td> <td>27社</td> <td>26社</td> <td>37社</td> <td>33社</td> <td>50社</td> <td>138社</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>72.7%</td> <td>95.8%</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>90.3%</td> <td>93.3%</td> <td>93.5%</td> <td>93.0%</td> <td>92.1%</td> <td>94.6%</td> </tr> <tr> <td>卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>就職決定率</td> <td>25.0%</td> <td>33.0%</td> <td>50.0%</td> <td>33.3%</td> <td>50.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	企業訪問実施	27社	26社	37社	33社	50社	138社	アンケート良好評価	100%	100%	100%	100%	72.7%	95.8%	就職率	90.3%	93.3%	93.5%	93.0%	92.1%	94.6%	卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援							就職決定率	25.0%	33.0%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																						
企業訪問実施	27社	26社	37社	33社	50社	138社																																						
アンケート良好評価	100%	100%	100%	100%	72.7%	95.8%																																						
就職率	90.3%	93.3%	93.5%	93.0%	92.1%	94.6%																																						
卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援																																												
就職決定率	25.0%	33.0%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%																																						

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
<p>8 大学改革の推進</p> <p>福岡県とアジア諸国とのネットワークの知的拠点となる大学づくりを進め、国際社会で活躍できる高度専門職業人を育成するため、理事長のもと、福岡女子大学の教育組織及び教育内容の抜本的な改革を推進する。</p>	<p>1 【改革案の検討・作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長のもと、全学的な検討のための組織を立ち上げて検討を行う。 ・労働市場や学生のニーズ等、マーケティングを行う。 ・学部・大学院を含め、大学全体の教育組織、教育内容を見直す。 ・19年度までに改革案を検討・作成し、中期計画の変更を行う。 <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革案の作成 ：平成19年度中に作成 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度に、大学改革案作成のため「改革委員会」を設置し、改革草案を平成19年5月に県に提示した。</p> <p>②平成20年度に、学内に「大学改革準備部会」を設置し、改革の基本案を検討・作成した。</p> <p>③県が設置した「福岡女子大学の抜本的改革に向けた準備委員会」において策定された「福岡女子大学改革基本計画」を具体化するため、学内に「新学部設置準備部会」を設置し、県と連携して平成23年4月の新学部開設に向けた作業を進めた。</p> <p>④県の中期目標の変更に伴い、中期計画の変更を行い、平成21年1月に県知事の認可を得た。</p> <p>※県の中期目標に「8. 大学改革の推進」が追加されたことに伴い、平成21年度以降の実施状況については、「8. 大学改革の推進」に記載</p>
<p>平成20年度、中期目標変更に伴い、中期計画を変更。平成21年度から本項目を中期計画より削除。</p>		

教育に関する特記事項

- ①九州大学、西南学院大学との三大学連携協力に関する基本協定に基づき、九州大学大学院オートモーティブサイエンス専攻に参画する等、他大学との連携による教育活動等の向上を図った。
- ②人間環境学研究科において臨床栄養師養成教育を開始するため、日本健康栄養システム学会への実施申請を行い、平成24年2月15日付で受理された。また、この資格取得に必要な900時間の臨床研修を行うため、国立病院機構九州医療センターとの連携協定の締結を行った。

項目別の状況

中期目標 2. 研究	「大学の教育や社会の発展に役立つ研究を推進する。」 福岡女子大学は、試験研究機関や他大学との共同研究、産学官連携などを通じ、大学の教育と社会の発展に有用な研究を重点的に推進する。研究費については、大学の財源を効果的に配分するとともに、外部研究資金の獲得に積極的に取り組む。
---------------	---

中期計画		計画の実施状況														
項目	実施事項															
1 特色ある研究の推進 時代の要請に応じ、先駆的・独創的研究や社会貢献の大きい研究を支援する体制を整備して、「文化」「健康」「環境」の研究により社会の活性化を支援する。福岡県・北部九州地域を中心とする様々な地域の社会的要請も配慮して点検評価を行うとともに、外部資金の獲得を図る。 また、研究成果を活用して、産学官連携を推進する。	1【学内外の共同研究プロジェクトの促進】 県及び国の試験研究機関や他大学との間で設備装置の共同利用等を含む研究交流を推進し、「文化」「健康」「環境」の分野において魅力的かつ学際的・国際的な研究領域を開拓する。研究交流の中核となる産学官地域連携センターの機能を強化する。 ○達成目標 ・学内外の共同研究件数 :10%の増加(平成18年度を基準として)	【中期目標期間の実施状況】 ①平成18年度に、福岡県保健環境研究所と包括的連携協力に関する協定締結及び共同研究を開始した。 ②平成18年度から、産学官地域連携センターが中心となり、産学官技術交流会等を開催した。 ③平成20年度から、九州大学新炭素資源学グローバルCOEプロジェクトに参加した。 ④平成23年度に、東部地域大学(九州産業大学・福岡工業大学)と連携協定を締結した。 ○目標実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学内外の共同研究数</td> <td>20件</td> <td>22件</td> <td>18件</td> <td>20件</td> <td>26件</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	学内外の共同研究数	20件	22件	18件	20件	26件	35件
	H18	H19	H20	H21	H22	H23										
学内外の共同研究数	20件	22件	18件	20件	26件	35件										

中期計画		計画の実施状況																																								
項目	実施事項																																									
	<p>2【研究予算の有効活用】 研究環境の整備のために、学内予算を工夫するとともに積極的に学外予算を獲得する。研究計画及び研究業績から優秀であると評価された研究を行っている個人、グループに比重を置いた傾斜配分を行う。</p> <p>○達成目標 ・傾斜配分割合 ：学術研究費の30%に増加 ・論文数(査読付、学術書掲載分) ：5件以上(教員あたり5年間) ・学会発表(招待講演、シンポジスト招聘分) ：5件(年平均) ・特許・実用新案件数(取得済のもの) ：1件(5年間) ：特許申請数5件(5年間)</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①学内研究奨励交付金(傾斜配分)の引き上げを行い、平成22年度までに30%とした。 ②学内研究奨励金の募集・審査方法の改善を行い、科研費の申請を応募の条件とする等、外部資金獲得の取組を促進した。 ③平成23年度に、特許・実用新案等の申請手続きへの理解を深め、今後の申請を促すため、知的財産権に関するセミナーを開催した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学術研究費の傾斜配分割合</td> <td>15%</td> <td>20%</td> <td>20%</td> <td>25%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>学会発表数(招待講演、シンポジスト招聘分)</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>26件</td> <td>36件</td> <td>53件</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>論文数 教員1人当たり</td> <td>目標外</td> <td>1.1件</td> <td>0.8件</td> <td>0.7件</td> <td>1.1件</td> <td>0.7件</td> </tr> <tr> <td>特許・実用新案申請数</td> <td>目標外</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>							H18	H19	H20	H21	H22	H23	学術研究費の傾斜配分割合	15%	20%	20%	25%	30%	30%	学会発表数(招待講演、シンポジスト招聘分)	28件	30件	26件	36件	53件	43件	論文数 教員1人当たり	目標外	1.1件	0.8件	0.7件	1.1件	0.7件	特許・実用新案申請数	目標外	0件	0件	0件	1件	0件
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																				
学術研究費の傾斜配分割合	15%	20%	20%	25%	30%	30%																																				
学会発表数(招待講演、シンポジスト招聘分)	28件	30件	26件	36件	53件	43件																																				
論文数 教員1人当たり	目標外	1.1件	0.8件	0.7件	1.1件	0.7件																																				
特許・実用新案申請数	目標外	0件	0件	0件	1件	0件																																				
	<p>3【外部研究資金の獲得】 外部研究資金を積極的に獲得する。</p> <p>○達成目標 ・科研費等交付件数、受託研究・共同研究・奨学寄附金件数 ：毎年15件以上 ・外部研究資金収入額 ：年間3,000万円以上</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度から、電子メールを利用して学内に外部資金案内を提供するシステムを立ち上げ、研究助成金獲得を推進した。 ②科研費獲得支援のため、科研費説明会を実施した。 ③平成23年度に、研究者の「フォト研究紹介2011」を発行した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科研費等交付件数、受託研究、共同研究、奨学寄附金件数</td> <td>26件</td> <td>37件</td> <td>31件</td> <td>27件</td> <td>37件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>外部研究資金収入額</td> <td>4,213万円</td> <td>5,172万円</td> <td>5,273万円</td> <td>5,856万円</td> <td>6,785万円</td> <td>8,489万円</td> </tr> </tbody> </table>							H18	H19	H20	H21	H22	H23	科研費等交付件数、受託研究、共同研究、奨学寄附金件数	26件	37件	31件	27件	37件	49件	外部研究資金収入額	4,213万円	5,172万円	5,273万円	5,856万円	6,785万円	8,489万円														
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																				
科研費等交付件数、受託研究、共同研究、奨学寄附金件数	26件	37件	31件	27件	37件	49件																																				
外部研究資金収入額	4,213万円	5,172万円	5,273万円	5,856万円	6,785万円	8,489万円																																				

中期計画		計画の実施状況																												
項目	実施事項																													
	<p>4【産学官連携の推進】 産学官地域連携センターに改組し、産学官交流会、講演会、セミナーなどの活動を通して、地域のニーズの把握とそれに対応した共同研究を推進する。情報発信を目的に、学内研究情報データベースの作成、産学官連携に関連する外部情報の学内発信、パンフレットやホームページなどの広報活動を推進する。 また、大学、企業、公設研究所の研究者間の情報交換、共同研究幹旋、戦略的研究の促進を行うために、学外支援機関として産学官連携コンソーシアムを創設し、運営する。</p> <p>○達成目標 ・産学官共同研究数 ：年10件以上 ・広報活動パンフレット ：年2回 ・ホームページ改訂 ：年1回</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年4月に、「産学官地域連携センター」を設置し、産学官連携による共同研究や技術交流会を実施した。 ②産学官コンソーシアム活動の一環として、平成19年度から福岡ビジネス創造センターの運営に参画し、産学官連携セミナーを共催した。 ③平成20年度から、他大学との連携事業「国公立大コンソーシアム・福岡」に参画した。 ④平成23年度に、国立病院機構九州医療センターと連携協定を締結した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産学官共同研究数</td> <td>16件</td> <td>9件</td> <td>10件</td> <td>11件</td> <td>16件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>広報活動 パンフレット</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>ホームページ改訂</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	産学官共同研究数	16件	9件	10件	11件	16件	26件	広報活動 パンフレット	2回	2回	2回	2回	2回	2回	ホームページ改訂	1回	1回	目標外	目標外	目標外	目標外
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																								
産学官共同研究数	16件	9件	10件	11件	16件	26件																								
広報活動 パンフレット	2回	2回	2回	2回	2回	2回																								
ホームページ改訂	1回	1回	目標外	目標外	目標外	目標外																								

項目別の状況

<p>中期目標 3. 社会貢献</p>	<p>「大学の保有する人材、知識、施設等を社会のために活用する。」</p> <p>大学が保有する人材や知識等を活用して、就業中の女性や転職・復職を希望する女性を対象としたリカレント教育などを実施し、積極的な社会貢献を果たす。</p>
-------------------------	--

中期計画		計画の実施状況																																			
項目	実施事項																																				
<p>1 女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育</p> <p>青少年期、就労期、壮年・高齢期の女性に対する教育支援・学習支援を実施する。</p> <p>1. 青少年期の教育支援 男女共同参画社会を見据え、次世代を担う青少年に対する教育支援として、小中学校や高等学校との連携を実施する。</p> <p>2. 就労期の教育支援 仕事を継続している女性、復職・転職する女性、育児期間中の女性に対するキャリア</p>	<p>1【小中学校や高等学校との連携(青年期の教育支援)】</p> <p>大学からの出張講義や大学での体験授業、教師に対するワークショップ、また大学生と生徒との交流支援など、多様な視点からの教育連携を図る。(文学、国際文化、環境、栄養・健康科学領域など)</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張講義回数 : 毎年10回 ・体験授業回数 : 毎年10回 ・受講者アンケート : 良好評価70% 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①中期目標期間を通して、高校へのお出張講義や高校生向けの体験授業を実施した。</p> <p>②中期目標期間を通して、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業より指定を受けた県立小倉高校と連携し、高校生に先端研究に関する体験授業を行った。</p> <p>③平成21年度から、科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業により指定を受けた県立香住丘高校と連携し、高校生に先端研究に関する体験授業を行った(同校は平成23年度よりスーパーサイエンスハイスクール事業の指定校)。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張講義</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>23件</td> <td>19件</td> <td>28件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>93.0%</td> <td>未実施</td> <td>81.4%</td> <td>93.9%</td> <td>99.5%</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>体験授業</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>17件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>100%</td> <td>85.4%</td> <td>100%</td> <td>89.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H22より、出張講義・体験授業の件数にSSH、SPPを含む</p>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	出張講義	28件	30件	23件	19件	28件	29件	受講者アンケート良好評価	93.0%	未実施	81.4%	93.9%	99.5%	93.1%	体験授業	4件	4件	4件	6件	17件	20件	受講者アンケート良好評価	未実施	未実施	100%	85.4%	100%	89.0%
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																															
出張講義	28件	30件	23件	19件	28件	29件																															
受講者アンケート良好評価	93.0%	未実施	81.4%	93.9%	99.5%	93.1%																															
体験授業	4件	4件	4件	6件	17件	20件																															
受講者アンケート良好評価	未実施	未実施	100%	85.4%	100%	89.0%																															

中期計画		計画の実施状況																				
項目	実施事項																					
<p>ア・アップ、ブラッシュ・アップのための再教育の場を提供する。</p> <p>3. 壮年・高齢期の学習支援 壮年・高齢期の女性の生涯学習の場を提供する。</p>	<p>2【資格取得も含んだ再教育プログラム(リカレント教育)の提供(科目等履修生制度の活用等)(就労期の教育支援)】</p> <p>①正規の授業の開放による各学科・専攻のリカレント教育を提供する。 (取得できる資格) 国文学科 :国語教員、司書教諭 英文学科 :英語教員、司書教諭 環境理学科 :理科教員、危険物取扱者、基本情報技術士 栄養健康科学科 :家庭科教員、栄養教諭、管理栄養士 生活環境学科 :家庭科教員、インテリアプランナー、2級建築士</p> <p>②社会人を受け入れる学習環境(履修年限の弾力化、託児施設との連携など)の整備・充実を図る。</p> <p>○達成目標 ・受講者数 :クラスの学生数の1割程度を上限とした受入の実施 ・受講者アンケート :良好評価60%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①リカレント教育の実施について、平成18、19年度に検討・準備を行い、平成20年度から実施した。 ②平成21年度から、教員免許更新制の導入に伴い、免許状更新講習を開設した。 ③平成21年度から導入した長期履修制度について、ホームページに掲載し、周知を図った。 ④平成23年度から、新学部における授業開放も実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リカレント教育受講者数(科目等履修生)</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>77.0%</td> <td>89.3%</td> <td>84.8%</td> <td>実施不能</td> </tr> <tr> <td>教員免許状更新講習(延べ人数)</td> <td>未実施</td> <td>77人</td> <td>67人</td> <td>88人</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	リカレント教育受講者数(科目等履修生)	3人	4人	2人	0人	受講者アンケート良好評価	77.0%	89.3%	84.8%	実施不能	教員免許状更新講習(延べ人数)	未実施	77人	67人	88人
		H20	H21	H22	H23																	
リカレント教育受講者数(科目等履修生)	3人	4人	2人	0人																		
受講者アンケート良好評価	77.0%	89.3%	84.8%	実施不能																		
教員免許状更新講習(延べ人数)	未実施	77人	67人	88人																		
	<p>3【正規の授業開放による教育の実施(科目等履修生制度の活用)(壮年・高齢期の学習支援)】 「言語・文学・文化」と「健康・生活・環境」に関する学部・大学院における専門教育を提供する。</p> <p>○達成目標 ・受講者数 :クラスの学生数の1割程度を上限とした受入の実施 ・受講者アンケート :良好評価60%</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①壮年・高齢者への学習支援について、科目履修制度を利用して授業開放を行うことを決定し、平成20年度から実施した。 ②社会人女性に身近なテーマを「おすすめ科目」として設定、広報用パンフレットを作成し、広報活動を行った。 ③平成23年度から、新学部を設置した科目についても授業開放を行った。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数(聴講生のうち40歳以上の者)</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>76.5%</td> <td>90.2%</td> <td>84.8%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	受講者数(聴講生のうち40歳以上の者)	3人	3人	6人	8人	受講者アンケート良好評価	76.5%	90.2%	84.8%	100%					
	H20	H21	H22	H23																		
受講者数(聴講生のうち40歳以上の者)	3人	3人	6人	8人																		
受講者アンケート良好評価	76.5%	90.2%	84.8%	100%																		

中期計画		計画の実施状況																																	
項目	実施事項																																		
	<p>4【心身の健康や生き甲斐を探求する各種公開講座及びホームページによる情報提供の充実(壮年・高齢期の学習支援)】</p> <p>①壮年・高齢者を対象にして、下記のような公開講座等を開講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康を保つ教育(心理学・哲学・文学・体育学・栄養学等の文理両分野の教養講座) ・人生観を共に考える教育:生死について考えることによる充実した生活(心理学・哲学・教育学・文学・生命科学等の教養講座) ・現代的課題に関する教育(環境問題、多文化理解、生命倫理等の教養講座) <p>②受講者に対して、ホームページや広報誌等による情報提供を行うなどして、生涯学習を支援する。</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座数 : 年間に2公開講座を開講 ・受講者数 : 各講座平均して60名程度 ・受講者アンケート : 良好評価70% 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①春季・秋季・土曜公開講座及び特別公開講座、講演会、文学講座等を開催した。</p> <p>②平成19年度からの新規事業として、自由企画講座を実施した。</p> <p>③平成19年度から、講座内容のホームページ掲載、受講者に対する講座情報のメール配信を開始した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座数</td> <td>8講座</td> <td>12講座</td> <td>9講座</td> <td>45講座</td> <td>56講座</td> <td>47講座</td> </tr> <tr> <td>各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分)</td> <td>88人</td> <td>92人</td> <td>56人</td> <td>34.4人</td> <td>47.4人</td> <td>50.1人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>67.6%</td> <td>75.7%</td> <td>80.7%</td> <td>78.6%</td> <td>76.8%</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H21より講座のカウント方法を延べ講座数に変更</p>							H18	H19	H20	H21	H22	H23	公開講座数	8講座	12講座	9講座	45講座	56講座	47講座	各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分)	88人	92人	56人	34.4人	47.4人	50.1人	受講者アンケート良好評価	67.6%	75.7%	80.7%	78.6%	76.8%	81.8%
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																													
公開講座数	8講座	12講座	9講座	45講座	56講座	47講座																													
各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分)	88人	92人	56人	34.4人	47.4人	50.1人																													
受講者アンケート良好評価	67.6%	75.7%	80.7%	78.6%	76.8%	81.8%																													

中期計画		計画の実施状況																								
項目	実施事項																									
<p>2 教育研究の成果の活用による地域貢献および国際交流の推進</p> <p>地域社会からの多様な生涯学習ニーズに一層応える。国際交流を活発に行うシステムを整備し、教育研究の国際化を図り、アジア・太平洋地域と連携・協力して女子教育の推進を図る。</p>	<p>1【女性生涯学習研究センターへの改組と福岡女子大学人材バンクの開設】</p> <p>①現生涯学習研究センターを女性生涯学習研究センターへ改組し、地域の生涯学習の要望に一層応える。</p> <p>②福岡女子大学人材バンクの開設により、地域貢献と県行政への貢献を一層図る。</p> <p>※生涯学習講座の充実のために、人材バンクでは本学の人材について専門性や提供できるサービス等の情報をまとめる。</p> <p>○達成目標</p> <p>・人材バンク利用実績 :年間に学内外合わせて10件程度</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年4月に、「生涯学習研究センター」を「女性生涯学習研究センター」に改組した。</p> <p>②「福岡女子大学人材バンク」の開設(平成22年4月)に向け、登録対象者を拡大し、登録情報の充実を図った。</p> <p>③平成23年4月に、「女性生涯学習研究センター」を「地域連携センター女性生涯学習研究部門」に改組し、トップリーダー招へいによるリーダー養成講座として、女性の働き方、生き方に関する特別講演会を実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材バンク登録者数</td> <td>41人</td> <td>47人</td> <td>33人</td> <td>71人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>人材バンク利用実績</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>プログラム実施数(リーダー養成講座)</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	人材バンク登録者数	41人	47人	33人	71人	71人	人材バンク利用実績	目標外	目標外	目標外	目標外	7件	プログラム実施数(リーダー養成講座)	目標外	目標外	目標外	目標外	2件
		H19	H20	H21	H22	H23																				
人材バンク登録者数	41人	47人	33人	71人	71人																					
人材バンク利用実績	目標外	目標外	目標外	目標外	7件																					
プログラム実施数(リーダー養成講座)	目標外	目標外	目標外	目標外	2件																					
<p>2【国際交流・留学生センターの設立】</p> <p>①国際交流・留学生センターの設立</p> <p>②アジアからの留学生支援体制の充実及び海外留学・研修支援制度の充実</p> <p>③学生交流及びアジア・太平洋地域の大学・研究所との学術交流による女子高等教育の推進</p> <p>④国際交流・留学生センターの広報充実</p> <p>○達成目標</p> <p>・国外からの留学生数 :全学生の2%程度の受け入れ</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年10月に、「国際交流センター」を設置し、学生の語学研修や外国の学生の受け入れ・交流を行った。</p> <p>②平成19年度から、海外への短期研修プログラムを実施した。</p> <p>③平成20年度に1校、平成21年度には9校、平成22年度には2校の海外の大学と国際交流協定を締結し、平成23年度にはさらに9校と協定締結を行った。</p> <p>④平成22年度から、海外有力大学の優秀な留学生を受け入れるWJCプログラム(The World of Japanese Contemporary Culture Program)を開始し、短期留学生を受け入れた。</p> <p>⑤平成23年度に、本学を含めたアジアの有力10大学とともに、「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を設立した。</p> <p>⑥平成23年度に、欧州連合(EU)に関する教育・学術研究、情報収集・発信の拠点となる「EUIJ九州」を設立した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国外からの留学生数</td> <td>13人</td> <td>14人</td> <td>17人</td> <td>23人</td> <td>45人</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>海外語学研修、海外研修参加者</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>34人</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国外からの留学生数、海外への留学生数は、23年度は「8.大学改革の推進」へ移動</p>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	国外からの留学生数	13人	14人	17人	23人	45人	目標外	海外語学研修、海外研修参加者	目標外	目標外	目標外	目標外	34人	目標外				
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																				
国外からの留学生数	13人	14人	17人	23人	45人	目標外																				
海外語学研修、海外研修参加者	目標外	目標外	目標外	目標外	34人	目標外																				

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	

社会貢献に関する特記事項

① 本学が主体となる、産学官連携組織「福岡発食育 & 食環境整備ネットワーク」の事業が農林水産省の平成20年度「にっぽん食育推進事業」に選定され、教員と学生が連携して食事バランスガイドの普及や食育の推進に取り組んだ。

① 「日本国福岡女子大学食育支援プロジェクトと中国遼寧省公衆栄養士協会との学術交流に関する協議書」を平成23年4月13日付で締結した。中国公衆栄養士協会との学術交流・国際貢献推進のための基礎調査を行うため、本学研究代表者が遼寧省潘陽を訪問し、学術交流記念講演会での記念講演やパネルディスカッションを行った。また、中国医科大学を訪問し、本学と中国医科大学との学術交流に関する協議を行い、その結果として、本学と中国医科大学との間で平成24年2月5日に学術交流協定を締結した。

項目別の状況

<p>中期目標 4. 業務運営</p>	<p>「理事長のリーダーシップのもと、主体的・自律的な大学運営を確立する。」</p> <p>大学は、理事長のリーダーシップのもと、全学的な教育研究目標を策定し、大学の有する資源を最大限に活用して、主体的・自律的な大学運営を確立する。理事長を補佐するため、事務局による支援体制を強化する</p>
-------------------------	--

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
<p>1 運営体制の改善</p> <p>理事長が中心となって、全学的経営戦略の観点から学内諸資源の適正な配分を行い、かつ効率的な運用を図る体制を整備する。</p>	<p>1【学内資源の適正な配分と事務局機能の強化】</p> <p>理事長が中心となって策定した全学的な教育研究目標に沿って、教育研究活動の活性化や法人運営に資するよう学内資源の適正な配分を図る。 また、事務局における法人運営機能の強化を図る。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度に、法人運営会議、部局長会議による重要課題の検討対応や各種委員会、部会等を設置し、開催した。また、「国際交流センター」等5センターを設置し、運営した。 ②平成19年度に、大学改革に伴う諸課題に対応するための部署として、「大学改革推進室」を設置した。 ③平成20年度に、事務局業務の外部委託を進め、人材派遣の活用や嘱託職員の増員を行った。 ④平成21年度に、新学部開設準備のため、国際交流及び広報を担当する専門職の嘱託事務職員をそれぞれ1名ずつ採用し、海外大学との連携の進展、広報体制の強化に努めた。 ⑤平成22年度に、国際化に対応するため、県庁内の公募制度を活用し、国際分野経験のある派遣職員を受け入れた。また、多言語対応が可能な嘱託職員を採用した。 ⑥平成23年度に、新学部開設に合わせ、附属機関の再編、要員配置や事務分掌の見直しを行い、新体制での運営をスタートさせた。また平成24年度のプロパー職員導入に向けて、採用試験を実施した。</p>
	<p>2【安全衛生管理】</p> <p>学内の安全管理・危機管理を徹底するとともに、学生・教職員の健康衛生管理を充実する。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①安全衛生委員会を中心に、安全管理・危機管理・防犯体制の構築・点検・改善等を実施した。また産業医による職場巡視を実施した。 ②学生相談室(臨床心理士)の活用と保健室(看護師職)の日々の助言指導等による、学生の健康増進に向けての相互補完的なカウンセリング体制を築いた。 ③AEDを購入、配置するとともに、取扱説明や救命講習を全教職員対象に実施した。 ④毒劇物の取扱指針・薬品保管庫使用要領を作成し、適正な保管管理体制を整備した。 ⑤学外の各種安全講習会に積極的に参加した。また救命講習や毒劇物適正管理講習会等を実施した。 ⑥教職員に対し、安全講習会・防災訓練を実施し、また安全・危機管理マニュアルの周知徹底を図った。 ⑦安全・危機管理マニュアルを学生便覧に掲載することで、学生に対しても周知徹底を図った。 ⑧安全衛生委員会内に廃棄物処理対策専門部会を設置した。</p>

中期計画		計画の実施状況													
項目	実施事項														
2 人事の適正化 教職員の業務・業績に関する評価制度及び教員全員への任期制を導入する。	1【教員の個人業績評価システムの導入】 教員の業務・業績に関する評価制度を導入し、教員の職務能力の向上を図る。 評価結果を給与に反映させる。	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度に、試行期間として平成17年度の活動実績について個人業績評価を実施した。平成18年度活動実績についての個人業績評価を行うにあたり説明会を開催し、評価基準等の周知を図った。</p> <p>②平成19年度から平成23年度に、それぞれ前年度の活動実績について個人業績評価を実施し、評価結果を基に、12月の報奨金、業績年俸に反映させた。</p>													
	2【教員全員への任期制の導入】 全教員を対象とした任期制を導入する。	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①新規採用者は全て任期制を導入した。</p> <p>②非任期制の教員については、昇任時に任期制への移行の打診を行い、平成18年度以降4名の同意を得た。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>任期制同意率(各年度3月末)</td> <td>43.8%</td> <td>44.0%</td> <td>41.0%</td> <td>45.0%</td> <td>50.7%</td> <td>65.1%</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	任期制同意率(各年度3月末)	43.8%	44.0%	41.0%	45.0%	50.7%
	H18	H19	H20	H21	H22	H23									
任期制同意率(各年度3月末)	43.8%	44.0%	41.0%	45.0%	50.7%	65.1%									

項目別の状況

中期目標 5. 財務	「経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。」 大学は、その運営が公的資金に支えられていることを踏まえ、経営者の視点に立って、不断の経営努力を行う。 収入については、重要な自己財源である学生納付金のあり方について検討するとともに、外部研究資金の獲得に努め、社会人向け教育サービスや資産の有効活用などによる新たな収入の確保にも積極的に取り組む。 経費については、人員配置や業務内容の見直しを推進し、その抑制を図る。
---------------	--

中期計画		計画の実施状況																	
項目	実施事項																		
1 自己収入の増加 大学経営の資金確保を図るため、自己収入の確保および増加に努める。	1 【学生納付金の確保とあり方検討】 学生納付金のあり方を検討する。また、学生納付金の未納に対する取り組みを強化する。 ○達成目標 ・学生納付金収納率 :100%	【中期目標期間の実施状況】 ①未納者に対して、電話連絡、督促状の送付、催告状の送付を行った。 ②学生納付金の未納解消を図るため、納付しない場合には除籍になる旨を記した文書による督促を行い、なお未納の場合は更に保証人(保護者)に対し電話による催告を3回以上行った。 ○目標実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>学生納付金収納率</td> <td>99.1%</td> <td>99.3%</td> <td>99.3%</td> <td>99.4%</td> <td>99.6%</td> <td>99.6%</td> </tr> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	学生納付金収納率	99.1%	99.3%	99.3%	99.4%	99.6%	99.6%			
		H18	H19	H20	H21	H22	H23												
	学生納付金収納率	99.1%	99.3%	99.3%	99.4%	99.6%	99.6%												
2 【学内の特別講座、有料公開講座等による収入の確保】 学生対象の特別講座(公務員養成講座、教員試験対策講座、教養試験対策講座、各種資格取得支援講座)や資格取得支援講座等において受講料・聴講料を徴収し、教育プログラムの充実を図るとともに自己収入の増加に努める。 ○達成目標 ・開設講座数 :平成23年度までに3講座以上	【中期目標期間の実施状況】 ①土曜・春季公開講座・秋季公開講座、リカレント教育、教員免許状更新講習で受講料を徴収した。 ○目標実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>受講料収入</td> <td>835千円</td> <td>693千円</td> <td>1,257千円</td> <td>1,010千円</td> <td>1,082千円</td> </tr> <tr> <td>開設講座数</td> <td>3講座</td> <td>3講座</td> <td>3講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> </tr> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	受講料収入	835千円	693千円	1,257千円	1,010千円	1,082千円	開設講座数	3講座	3講座	3講座	5講座	5講座
	H19	H20	H21	H22	H23														
受講料収入	835千円	693千円	1,257千円	1,010千円	1,082千円														
開設講座数	3講座	3講座	3講座	5講座	5講座														
3 【外部研究資金の獲得】 多様な専門分野の研究者が連携することにより積極的に外部研究資金の確保に努める。 ○達成目標 ・外部研究資金収入 :年間3,000万円以上	【中期目標期間の実施状況】 ①「地域連携センター(旧産学官地域連携センター)」が中心となって科研費説明会の開催やホームページ・電子メール利用による外部資金情報提供、産学官技術交流会の開催等を実施し、外部資金獲得を支援した。 ○目標実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外部研究資金等収入額</td> <td>4,213万円</td> <td>6,972万円</td> <td>9,875万円</td> <td>10,234万円</td> <td>8,483万円</td> <td>9,889万円</td> </tr> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	外部研究資金等収入額	4,213万円	6,972万円	9,875万円	10,234万円	8,483万円	9,889万円				
	H18	H19	H20	H21	H22	H23													
外部研究資金等収入額	4,213万円	6,972万円	9,875万円	10,234万円	8,483万円	9,889万円													

中期計画		計画の実施状況																																									
項目	実施事項																																										
2 経費の抑制 事務処理の効率化や学内施設の効率的利用を推進することで管理的経費の節減を図る。	1 【人件費の抑制】 大学設置基準を踏まえ、人員配置を見直す。 業務内容や手順を洗い直し、適切に人員を配置する。 ○達成目標 ・人件費削減率 : 法人化前の5%以上	【中期目標期間の実施状況】 ①期間中の教員の退職者の補充について、非常勤教員や特任教授の導入を検討、実行し人件費を削減した。 ②事務職員については、プロパー職員の採用検討や嘱託職員の採用による事務局業務執行体制の整備を行った。 ③人事委員会勧告に準拠した給与改定の実施により、人件費を削減した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費削減率(対17年度)</td> <td>4.0%</td> <td>5.4%</td> <td>6.5%</td> <td>9.0%</td> <td>4.4%</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table> ※退職手当及び大学改革に係る分を除く		H18	H19	H20	H21	H22	H23	人件費削減率(対17年度)	4.0%	5.4%	6.5%	9.0%	4.4%	5.3%																											
		H18	H19	H20	H21	H22	H23																																				
人件費削減率(対17年度)	4.0%	5.4%	6.5%	9.0%	4.4%	5.3%																																					
2 【管理運営業務の効率化(事務処理の効率化と光熱水費の節減)】 事務処理の効率化や省エネによる光熱水費の節減によって、経費の削減を図る。 ○達成目標 ・省エネルギー : 基本契約電力の目標値設定、節電型機器の導入等による毎年度の節電目標設定 ・リサイクル推進 : 紙回収率の向上による廃棄物量の削減等、毎年度のリサイクル目標設定 ・印刷資料削減率 : 平成23年度までに印刷配布資料の20%削減 ・通信費削減率 : 郵送費、電話代等の通信費を平成23年度までに10%削減 ・光熱水費削減率 : 平成23年度までに、平成16年度実績の5%削減	【中期目標期間の実施状況】 ①印刷配付資料削減については、紙媒体ではなく、メールの活用を推進した。 ②通信運搬費の削減については、事務処理の見直し、効率化や宅配便、メール便の活用等を推進した。 ③電力使用料の削減については、学内への啓発文書や契約電力の変更、オープンキャンパス時の自家発電装置の活用などを推進した。 ④ごみ削減・リサイクル率の向上については、資源ごみの分別収集の周知徹底や廃棄物処理に関する講習会を実施した。 ○目標実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度)</td> <td>11.5%増</td> <td>9.1%減</td> <td>6.3%減</td> <td>5.9%増</td> <td>52.2%増</td> <td>89.0%増</td> </tr> <tr> <td>(コピー代)</td> <td>2,873千円</td> <td>2,541千円</td> <td>1,615千円</td> <td>1,529千円</td> <td>2,311千円</td> <td>2,794千円</td> </tr> <tr> <td>通信費(対17年度)</td> <td>25.9%減</td> <td>29.3%減</td> <td>31.9%減</td> <td>35.8%減</td> <td>23.5%減</td> <td>21.1%減</td> </tr> <tr> <td>光熱水費(対17年度)</td> <td>5.8%減</td> <td>2.8%減</td> <td>1.2%増</td> <td>5.4%減</td> <td>2.2%増</td> <td>3.1%減</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>24.9%</td> <td>18.7%</td> <td>18.9%</td> <td>18.2%</td> <td>17.9%</td> <td>18.3%</td> </tr> </tbody> </table>		H18	H19	H20	H21	H22	H23	印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度)	11.5%増	9.1%減	6.3%減	5.9%増	52.2%増	89.0%増	(コピー代)	2,873千円	2,541千円	1,615千円	1,529千円	2,311千円	2,794千円	通信費(対17年度)	25.9%減	29.3%減	31.9%減	35.8%減	23.5%減	21.1%減	光熱水費(対17年度)	5.8%減	2.8%減	1.2%増	5.4%減	2.2%増	3.1%減	リサイクル率	24.9%	18.7%	18.9%	18.2%	17.9%	18.3%
	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																					
印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度)	11.5%増	9.1%減	6.3%減	5.9%増	52.2%増	89.0%増																																					
(コピー代)	2,873千円	2,541千円	1,615千円	1,529千円	2,311千円	2,794千円																																					
通信費(対17年度)	25.9%減	29.3%減	31.9%減	35.8%減	23.5%減	21.1%減																																					
光熱水費(対17年度)	5.8%減	2.8%減	1.2%増	5.4%減	2.2%増	3.1%減																																					
リサイクル率	24.9%	18.7%	18.9%	18.2%	17.9%	18.3%																																					

項目別の状況

<p>中期目標 6. 評価</p>	<p>「評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。」</p> <p>教育・研究その他大学運営全般についての自己点検・評価を厳正に実施するとともに、その評価結果を速やかに公表する。 計画・実行・評価・改善の仕組みを確立し、教員の個人業績評価、県評価委員会の評価及び認証評価機関の評価を、大学運営の改善に速やかに反映させる。</p>
-----------------------	---

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
<p>1 評価の充実</p> <p>全学的な自己点検・評価及び外部評価のシステムを整備し、その改善によって評価の充実を図り、評価の結果を教育・研究や大学運営の改善に反映させる。 また、教員の個人業績評価の評価結果を給与に反映させ、大学運営の改善につなげる。</p>	<p>1【自己点検・評価の実施と評価委員会等の評価結果の大学運営への反映】</p> <p>教育・研究及び大学運営の改善のために自己点検・評価を行い、その評価結果を公開し、社会への説明責任を果たす。 県評価委員会や認証評価機関の評価結果に従って、自己点検・評価システムの改善や、教育・研究及び大学運営の改善を図る。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成19年度から、前年度業務実績について自己点検・評価を実施するとともに、実績報告書を大学ホームページに掲載した。 ②平成19年度から、前年度業務実績に係る自己点検・評価結果及び県評価委員会の評価結果を踏まえ、次年度計画や次期中期計画の取組上の留意点等について、各担当者に指示し、大学運営の改善を図った。 ③平成22年度に受審する認証評価に向けて、平成20年度から、学内の認証評価部会を中心に自己点検及び評価作業を実施した。 ④平成22年度に、本学の自己評価書案を作成し、関連資料とともに大学評価・学位授与機構に提出した。 ⑤書面調査、訪問調査を経て、平成23年3月に、「大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を得た。 ⑥平成23年度以降、通知された評価結果を基に特に改善を要する点については、その改善策を検討し、一部を実施した(事務局の就職支援部門のスタッフの増員など)。 ⑦新学部設置に合わせて評価結果を業務改善に活かす仕組みを構築するため、平成23年度に、自己点検・評価委員会の機能を強化するよう規則を改正した。</p>
	<p>2【教員の個人業績評価システムの導入と評価結果の給与への反映】</p> <p>教員の個人業績評価システムを導入し、評価結果を勤勉手当等に反映させることにより、その努力に報い、教員の職務遂行力を活性化させる。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度に、個人業績評価委員会を設置し、個人業績評価の試行及び評価基準の見直しを行った。 ②平成19年度から、前年度の活動実績について個人業績評価を行い、その結果を基に12月の勤勉手当、業績年俸に反映させた。また、より適正な評価結果が得られるよう、適宜評価基準及び評価基準票の見直しを行った。</p>

項目別の状況

<p>中期目標 7. 情報公開</p>	<p>「情報公開を積極的に推進する。」</p> <p>入学希望者、学生、県民、企業などに対し、次のような情報を積極的に提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や教員の評価に関する情報 ・組織、教職員、施設設備、入学試験などに関する情報 ・カリキュラム、シラバス、教員の研究成果や地域貢献活動などに関する情報 ・学生の就職支援や卒業生の進路状況に関する情報 ・公開講座、大学施設の開放などに関する情報 ・予算や決算など財務に関する情報
-------------------------	--

中期計画		
項目	実施事項	計画の実施状況
<p>1 情報公開等の推進</p> <p>大学の教育・研究の内容、中期目標・中期計画等を、ホームページや学内外広報誌など、多様な広報メディアを活用して公開する。一方、情報の健全な活用を図るために、個人情報の漏洩防止など必要な情報管理を図る。</p>	<p>1【大学情報の公開の推進】</p> <p>情報センターを設置し、大学の教育研究内容や特色に関する情報を始めとして、シラバス、研究成果、入試情報、各センター情報、就職、組織運営情報、事業計画、中期計画・中期目標などの各種情報を多様な形で広く公表する。</p> <p>2【個人情報の保護】</p> <p>個人情報・調査結果・入試データなどの情報漏えいを防止するため、適正な管理体制をつくる。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年度に、情報センターの設置に関する必要諸規程や今後の業務について設立準備部会において検討、作成し、また6月にホームページを大幅リニューアルし、大学広報誌を掲載する等内容の充実を図った。また各教員の研究に関する情報をまとめたデータベースを作成し、ホームページに掲載した。</p> <p>②平成19年度4月に、「情報センター」を設置した。センター運営部会が中心となって、当センターを運営し、広報活動や情報のデータベース化を推進した。また、センター担当の嘱託職員を1名採用し、センターの円滑な運営を図るとともに、従来、教員が業務の合間に行っていたホームページの更新業務等を嘱託職員が行うようになったため、掲載依頼に迅速に対応できるようになった。</p> <p>③平成20年度に、大学紹介の英文パンフレットを作成した。また、「国際交流センター」の英文パンフレットを作成して大学ホームページに掲載し、留学等への取組について対外的な周知を行った。文書管理システムを委託開発し、理事会、学内審議機関等の議事録や学内システムに係るマニュアル等の大学資料のデータベース化を行った。</p> <p>④平成21年6月に、広報の専門家を嘱託職員として採用し、9月に「企画広報室」を立ち上げ、戦略的な広報活動を展開した結果、大学広報の充実や、高校渉外・進学相談会への参加等、当初計画を大幅に上回る結果を残した。</p> <p>⑤平成22年度に、大学広報紙の企画・作成や地下鉄・JR主要駅での広報、福岡県内における一般広報活動を行った。</p> <p>⑥平成23年度に、平成22年度の広報活動に加えオープンキャンパスなどの学内イベントの内容充実を図り、学外イベント(進学相談会)に関しては、九州・中四国地区を中心に東京、名古屋、大阪にも参加した。また高校訪問についても福岡を中心に九州・中四国地区への訪問を実施した。</p> <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①全教職員を対象とした個人情報保護に関する講習会の開催や県の県民情報広報課が作成した研修資料の配布により、個人情報保護に関する意識の啓発を図った。</p> <p>②平成18年度に、県の個人情報保護条例に沿って法人の個人情報保護に関する規程を制定するとともに、その制度概要や注意点等をまとめた資料を作成した。また、学内システムの機能向上に伴い、規定等の点検を行い、必要に応じて改訂を行った。</p> <p>③平成22年度に、大学におけるセキュリティ対策を体系的・具体的にまとめた「情報セキュリティポリシー」を策定した。</p>

項目別の状況

中期目標 8. 大学改革の推進	「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、平成二十三年度を目途に、学部学科の再編及び新たな教育システムの構築をはじめとする抜本改革に取り組む。」
--------------------	--

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
1 大学改革の推進 「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、次の事項を改革の柱として、平成23年度の新学部開設に向け、全学を挙げて改革推進に取り組む。 ・グローバル化時代に対応した学部学科の再編 ・自らの関心に応じて学習できる弾力的な教育システムの導入 ・これからの社会に求められる普遍的な能力を培う「国際共生プログラム」を実施 ・外国語によるコミュニケーション能力の育成 ・学外の教育リソースを活用した体験型の学習環境の創出 ・教育の場としての学生寮 ・社会貢献機能の充実	1【学部学科の再編】 グローバル化時代の課題に幅広く対応できるよう、現在の2学部5学科を1学部3つのコース(「国際」「環境」「食・健康」の3つの課題に応じたコース)に再編する。	【中期目標期間の実施状況】 ①平成21年度に、県と連携して学内の総合企画調整分科会において検討を重ね、また文部科学省との事務相談の結果も踏まえ、これまでの2学部5学科から、1学部3学科への再編案を作成した。 ②平成22年度に、新学部の設置認可について5月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可申請書」を提出した。また申請内容について大学設置・学校法人審議会(文部科学省)の審査意見に対応する形で認可申請書の補強・修正等を行い、9月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可に係る補正申請書」を、さらに文部科学省の答申「継続審査(保留)」を受けて、11月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可に係る再補正申請書」を提出した。12月に文部科学省の設置認可を得た。 ③平成23年度に、国際文理学部の国際共生プログラムとして、学術英語プログラム、体験学習科目等の教育を実施した。
	2【新たな教育システムの構築】 グローバル化する社会で自らにふさわしい生き方を実現するために必要な能力と専門性を身に付けることができるよう、主体的な学びと幅広い学びを重視した実践的な教育システムを構築する。	【中期目標期間の実施状況】 ①平成21年度に、県と連携して、総合企画調整分科会他5つの分科会において、各教育分野のカリキュラムについて検討を重ね、全学共通教育、専門教育、体験学習等の教育課程を編成した。また外国語コミュニケーション能力育成のための教育手法(英語集中プログラム、アドバンスト・イングリッシュ)を提供することとした。さらに、海外留学プログラムや学生のニーズに応じた教育プログラムを提供するため、九州大学や福津市等との連携活動を図った。 ②平成22年度に、新学部における学士課程教育の4年間を通じた教育の柱として、グローバル社会に対応できる基盤的・実践的な力を養う国際共生プログラムの編成を行った。また魅力ある海外留学プロジェクトとして豪州エコビレッジでの体験学習プログラムを試行的に実施した。さらに福津市と包括的連携協定を締結し、「学生記者インターンシップ」プログラムを実施した。 ③平成23年度に、学生参加型少人数教育を目指したファーストイヤー・ゼミと学術英語プログラム(AEP)及び体験学習科目を含む、1年生向けの学部共通科目をすべて開講した。各学科の専門科目も一部開講した。また学生のニーズに応じた教育プログラムを幅広く提供するため、自治体や企業と連携し、事業を実施した。さらに「EUIJ九州」や「アジア大学コンソーシアム福岡」を発足し、九州大学、西南学院大学やアジアの主要大学との連携を強化した。

福岡女子大学(大学改革の推進)

中期計画		計画の実施状況								
項目	実施事項									
3	<p>【海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際舞台で通用する人材を育成するため、海外学習プログラム(交換留学、語学研修、フィールドスタディなど)を整備するなど海外学習制度を構築するとともに、質の高い留学生を受け入れるための教育プログラムを整備する。 ・奨学基金を創設し、海外学習及び海外からの留学生受入の支援体制を構築する。 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①福岡女子大学の国際化を推進するために、海外の有力大学との提携を進め、本中期目標期間中に各国トップクラスの大学21校と国際交流協定を締結した。</p> <p>②海外の有力大学の優秀な学生を確保するため、平成22年10月から短期受入れプログラム(WJC)を実施し、延べ74名(実員52名)の留学生を受け入れ、在校生の家族等との交流を目的とした「ホームビジット」等を実施した。</p> <p>③平成22年度に、国際化推進基金を設立し、海外学習の支援体制を構築した。</p> <p>④平成23年度から、海外語学研修科目や体験学習科目を実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;"></th> <th style="text-align: center;">H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外派遣留学参加者数</td> <td style="text-align: center;">16人(うち23年度新規留学12人)</td> </tr> <tr> <td>海外語学研修参加者数</td> <td style="text-align: center;">101人</td> </tr> <tr> <td>国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計)</td> <td style="text-align: center;">75人(うち前期からの継続8人)</td> </tr> </tbody> </table>		H23	海外派遣留学参加者数	16人(うち23年度新規留学12人)	海外語学研修参加者数	101人	国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計)	75人(うち前期からの継続8人)
	H23									
海外派遣留学参加者数	16人(うち23年度新規留学12人)									
海外語学研修参加者数	101人									
国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計)	75人(うち前期からの継続8人)									
4	<p>【教育の場としての学生寮の活用(原則1年間の全寮制教育)】</p> <p>異文化理解力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどの育成を図るためのプログラムを整備するとともに、学生寮運営の仕組みを構築する。</p>	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成21年度に、共用施設を利用した日本文化などに関する講演の実施や食に対する意識を高めるための学生・留学生の共同調理施設の設置などを検討し、これらを県へ提案した。</p> <p>②平成22年度に、学生寮における教育プログラムの企画・立案・実施準備を行った。冊子「新1年生のための手作り朝ごはん」を作成、配布したほか、新入生の学校見学会などを実施した。また学生寮運営部会を組織し、学生寮を活用したセミナー・イベントの具体的な検討、学生寮規則の策定、新入生をサポートするRA(レジデント・アシスタント)の任命などを行い、学生受入の体制の整備を図った。</p> <p>③平成23年度に、国際交流・キャリア支援に関する講演会・イベントを実施した。また円滑な寮運営を図るため、寮運営協議会や寮運営部会を組織、開催した。</p>								

中期計画		計画の実施状況										
項目	実施事項											
	<p>5【多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀かつ多様な学生の確保のため、多様な入試制度を導入する。 ・入試業務全体を統括するアドミッションオフィスを設置するとともに、高等学校等へのPR活動、オープンキャンパスの充実等、積極的な情報発信活動を展開する。 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成21年度に、選抜方法の見直しを行い、平成23年度からの国際文理学部では、一般入試(前期・後期)、社会人入試、帰国子女入試、外国人入試に加え、志や意欲ある学生を確保できるよう、推薦入試を2回実施することを決定した。</p> <p>②平成22年度に、国際文理学部において重要な位置を占める留学生の確保目標を明確にするため、留学生枠を設けた。また、留学生を対象に海外での渡日前入学許可による入試も実施した。</p> <p>③平成22年度に、入試業務と就職業務を一元的な組織で運営することにより、本学に対する社会のニーズ把握を徹底するとともに、入試、就職それぞれの情報を結びつけ、戦略的、効果的に目標とする人材育成を図ることを目指し、これまで別々に行っていた入試・広報・就職支援業務を一本化した「入試・広報・キャリア支援室」(アドミッションオフィス)を設置した。</p> <p>④「入試・広報・キャリア支援センター」を中心に、高等学校への渉外活動、オープンキャンパス、学校見学会及び入試相談会の実施により、大学情報を積極的に発信した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>オープンキャンパスにおける模擬授業</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>学校見学会</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>高校訪問(延べ校数)</td> <td>137校</td> </tr> <tr> <td>進学説明会</td> <td>64件</td> </tr> </table>		H23	オープンキャンパスにおける模擬授業	14回	学校見学会	5回	高校訪問(延べ校数)	137校	進学説明会	64件
	H23											
オープンキャンパスにおける模擬授業	14回											
学校見学会	5回											
高校訪問(延べ校数)	137校											
進学説明会	64件											
	<p>6【社会貢献機能の充実に向けた各種プログラム及び体制等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の特色を活かし、社会人教育や再就職支援プログラムの提供など、女性の一生涯を対象とした再学習拠点としての機能を充実する。 ・大学と地域が相互交流する環境づくりを推進する。 ・社会貢献活動の積極的な推進と情報発信機能の強化を図るため、大学の社会貢献活動を総合的に実施する全学的組織としてエクステンションセンターを設置する。 	<p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①地域交流活動の具体的な取組として、平成22年度に福津市との包括的連携協定を締結した。</p> <p>②国際文理学部開設後の運営組織、施設整備の検討段階において、「エクステンションセンター(地域連携センター)」の機能や要員配置等について整理、検討し、平成23年度に「地域連携センター」を設置した。</p> <p>③平成23年度に、地域連携センター女性生涯学習研究部門において、リーダー養成等を目的とした各種公開講座や特別講演会を実施した。</p> <p>④平成23年度に、地域連携センター産学官地域連携部門において、他大学や企業・自治体等との共同研究や交流を推進するため、各種交流会・セミナーを実施した。</p> <p>⑤平成23年度に、地域連携センター地域交流部門において、大学と地域の相互交流を図るため、各種イベントや出張講義、大学施設見学会、学生同士の交流を実施した。また地域の教育や地域社会の充実・発展に寄与するため、西日本新聞社との連携協定を締結した。</p>										

福岡女子大学(大学改革の推進)

中期計画		計画の実施状況
項目	実施事項	
	7【大学運営に係る体制等の整備】 ・優秀な教職員の確保に取り組むとともに、事務局体制を整備する。 ・新学部開設に伴う教育設備等の整備に取り組む。	【中期目標期間の実施状況】 ①新学部の教育理念を共有し意欲的に取り組むことのできる優秀な教員を確保するため、広く公募し、専任教員、非常勤講師を選考し採用した。 ②社会の変化やグローバル化時代に対応した福岡女子大学の創造に向け、各種事業分野について、教職協働による附属機関を設置した。 ③「施設整備分科会」が中心となり、県及び各学科等と協力のうえ、新学生寮の設置、新学部開設に必要な専門図書等の整備、新校舎(研究棟)の実施設計を行った。 ④新学部設置に伴い、各種業務を重点的かつ機動的に推進することができるよう、組織運営体制の再編・整備を行った。

大学改革の推進に関する特記事項
①新学部の開設を記念し、平成22年11月に記念シンポジウムを開催し、300名を超える参加者を得た。 ②平成23年2月に立命館アジア太平洋大学と連携協力に関する基本協定を締結し、相互の特色を活かした連携を推進することとした。

項目別の状況

その他中期計画において定める事項

中期計画		計 画		実 績	
I 収支計画予算 及び資金計画予算	1. 収支計画予算	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
		区分	金額	区分	金額
		費用の部	7,618	費用の部	8,537
		業務費	6,918	業務費	7,659
		教育研究経費	1,133	教育研究経費	1,467
		人件費	5,785	人件費	6,192
		一般管理費	700	一般管理費	809
		(減価償却費 再掲)	(269)	(減価償却費 再掲)	(254)
		臨時損失		臨時損失	67
		収益の部	7,618	収益の部	8,742
		運営費交付金収益	3,883	運営費交付金収益	4,727
		授業料収益	2,755	授業料収益	2,563
		入学金収益	456	入学金収益	465
		検定料収益	115	検定料収益	101
		雑益	54	補助金収益	253
		受託研究等収益	81	雑益	138
		寄附金収益	60	受託研究等収益	108
		資産見返運営費交付金等戻入	24	寄附金収益	65
		資産見返物品受贈額戻入	190	資産見返運営費交付金等戻入	56
		純利益	0	資産見返寄附金戻入	16
				資産見返補助金戻入	4
				資産見返物品受贈額戻入	74
				臨時利益	167
				純利益	205
				※増減の主な理由 ■費用の部 ・教育研究経費 大学改革に伴う教育研究経費や広報費等の増による ・人件費 大学改革に伴う教職員体制の整備強化による増による ・一般管理費 大学改革に伴う新校舎・寮の備品整備費等の増による ■収益の部 ・運営費交付金収益 教職員数や学生数の増等に伴い、運営費交付金の交付額が増加したことによる ・授業料収益 授業料収入を財源として取得した固定資産が計画で想定していた取得額を上回ったことにより、収益に計上すべき金額が想定していた収益の金額を下回ったことによる減 ・補助金等収益 新校舎・寮に係る施設整備補助金や文部科学省の大学改革推進等補助金の交付を受けたことによる増 ・資産見返物品受贈額戻入 県から無償譲渡された物品の資産価値減少による減	

中期計画		計画	実績																																																																
I 収支計画予算 及び資金計画予算	2. 資金計画予算	(単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td>7,550</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>7,349</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td>7,550</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>7,550</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金による収入</td> <td>3,990</td> </tr> <tr> <td>授業料等による収入</td> <td>3,326</td> </tr> <tr> <td>受託研究等による収入</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金支出	7,550	業務活動による支出	7,349	投資活動による支出	201	財務活動による支出	0	資金収入	7,550	業務活動による収入	7,550	運営費交付金による収入	3,990	授業料等による収入	3,326	受託研究等による収入	180	その他収入	54	投資活動による収入	0	財務活動による収入	0	(単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td>9,001</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>8,026</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>453</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>418</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td>9,001</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>8,758</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金による収入</td> <td>4,825</td> </tr> <tr> <td>授業料等による収入</td> <td>3,244</td> </tr> <tr> <td>補助金による収入</td> <td>267</td> </tr> <tr> <td>受託研究等による収入</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>受託事業等による収入</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>寄附金収入</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>預かり科学研究費補助金等の純増減額等</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前期中期目標期間よりの繰越金</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金支出	9,001	業務活動による支出	8,026	投資活動による支出	453	財務活動による支出	103	次期中期目標期間への繰越金	418	資金収入	9,001	業務活動による収入	8,758	運営費交付金による収入	4,825	授業料等による収入	3,244	補助金による収入	267	受託研究等による収入	81	受託事業等による収入	24	寄附金収入	141	その他収入	147	預かり科学研究費補助金等の純増減額等	25	投資活動による収入	243	財務活動による収入	0	前期中期目標期間よりの繰越金	0
区分	金額																																																																		
資金支出	7,550																																																																		
業務活動による支出	7,349																																																																		
投資活動による支出	201																																																																		
財務活動による支出	0																																																																		
資金収入	7,550																																																																		
業務活動による収入	7,550																																																																		
運営費交付金による収入	3,990																																																																		
授業料等による収入	3,326																																																																		
受託研究等による収入	180																																																																		
その他収入	54																																																																		
投資活動による収入	0																																																																		
財務活動による収入	0																																																																		
区分	金額																																																																		
資金支出	9,001																																																																		
業務活動による支出	8,026																																																																		
投資活動による支出	453																																																																		
財務活動による支出	103																																																																		
次期中期目標期間への繰越金	418																																																																		
資金収入	9,001																																																																		
業務活動による収入	8,758																																																																		
運営費交付金による収入	4,825																																																																		
授業料等による収入	3,244																																																																		
補助金による収入	267																																																																		
受託研究等による収入	81																																																																		
受託事業等による収入	24																																																																		
寄附金収入	141																																																																		
その他収入	147																																																																		
預かり科学研究費補助金等の純増減額等	25																																																																		
投資活動による収入	243																																																																		
財務活動による収入	0																																																																		
前期中期目標期間よりの繰越金	0																																																																		
II 短期借入金の限度額	1. 短期借入金の限度額 2億円 2. 想定される理由 運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすること。	該当なし																																																																	
III 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	なし	該当なし																																																																	
IV 剰余金の使途	決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。	・平成19年度から平成23年度までに取り崩した教育研究等改善目的積立金合計56百万円を、次のとおり教育研究の質の向上並びに組織運営の改善に充当した。 ・平成22年度 大学改革に係る広報経費ほか 25百万円 ・平成23年度 国際化推進関連経費ほか 31百万円																																																																	
V その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	1. 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることのできる積立金の処分に関する計画 なし 2. その他法人の業務に関し必要な事項 なし	該当なし																																																																	